

令和4年度 法人本部拠点区分事業報告書

1. 大東福祉会の経営状況について

今年度大東福祉会の経営状況について、一般企業の経常利益に相当する経常増減差額は、法人全体で前期比 69.9%減の 2,700 万円程と大幅な減益となった。主な要因として、老人福祉部においてはコロナの影響による介護事業での利用率の低下、子育て支援部では出生率低下に伴う入園児の減少、法人全体としては昨今の物価高騰による影響が顕著で、特に水道光熱費支出は前期比 1,750 万円の増（28%増）となり法人経営を圧迫している。

事業活動資金収支差額は、老人福祉部（大東苑、くにやす苑、小笠老人ホーム）では 20 万円程の赤字となった。子育て支援部（城東保育園、おおさかこども園、ちはまこども園）については、前期比 62.6%減となったが収支では 2,800 万円程の黒字となった。なお、きとうこども園建設関連費 3,600 万円程が支出計上されているため、実質的には 6,400 万円程の黒字となる。当法人の中長期経営計画での積立資産目標を、子育て支援部では 4,400 万円の積み立てにより達成できたが、老人福祉部では未達となった。今後、より一層の利用率の向上を図り、安定した経営を目指していく。

事業活動収入は、介護保険事業収入が前期比 0.8%減の 10 億 1,800 万円、老人福祉事業収入は前期比 3.1%減の 1 億 1,400 万円、保育事業収入は前期比 2.1%減の 5 億 1,100 万円、全体の事業活動収入は前期比 1.2%減の 16 億 6,500 万円となった。

事業活動支出は、全体で前期比 4.9%増の 16 億 3,900 万円となった。人件費が 12 億円と支出の大半を占めており、法人全体の事業活動人件費比率は 73.2%で前期より 2.7 ポイント上がっている。コロナ対応による業務量の増や処遇改善加算、最低賃金の改定に伴う対応による人件費の増が要因である。更なる施設利用率向上に向け、サービスの質の向上を図るとともに職員一人一人の生産性を上げ、人件費比率を近隣社会福祉法人と同じ水準の 70%以下とする。

また、補助金として掛川市並びに静岡県社会福祉協議会からくにやす苑施設整備償還金助成金、掛川市からのきとうこども園建設補助金収入により有効に活用を図った。

2. 事業毎の総括について

令和4年度は昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染状況に応じた施設運営をおこなった。長期に亘る自粛生活、感染予防に配慮しながらのサービス提供、行事等の変更や中止による職員対応の負担も大きかった。今後も入所施設での感染対応を適切に実施し、地域住民から信頼される施設として福祉サービスの提供に努めていきたい。

子育て支援事業については、城東保育園、おおさかこども園、ちはまこども園の入園率は、それぞれ 111.2%、75.0%、77.8%で城東保育園は 100%を達成している。おおさかこども園は、令和3年4月より利用定員の変更を行っているが、2・3号は 85.9%、幼稚園の1号認定が 42.7%となった。1号認定の入園率が 50%を割っており適正な定員とするため令和5年度に掛川市と定員変更の協議をおこなう。

認定こども園については、当法人の3園目となるきとうこども園が完成し、3月11日に市長並びに市議会関係者等出席のもと完成記念式典を開催した。なお、「城東保育園」については、2月18日に閉園式を開催した。3月31日に当法人設立の礎である「城東保育園」の44年間の経営が終了し「きとうこども園」に引き継がれた。

老人福祉事業については、くにやす苑の移転建て替えに関し市長と意見交換会を実施した。今後、定期的に市当局と協議し、早期に建て替えが実現できるよう要望等をおこなっていく。

老人福祉事業は、各サービスの年間平均利用率等と目標利用率等を示す。

大東居宅	年間平均件数 279 (目標 285)	大東ヘルパー	年間平均利用率 68.1% (目標 80)
大東デイ	年間平均利用率 76.8% (目標 80)	なかよし	年間平均利用率 56.8% (目標 70)
大東ショート	年間平均利用率 76.1% (目標 75)	大東苑	年間平均入所者数 46.3 (目標 49)

くにやすデイ 年間平均利用率 70.1% (目標 80) くにやすショート 年間平均利用率 49.0% (目標 65%)
くにやす苑 年間平均入所者数 77.3 (目標 78.4) 小笠老人ホーム 年間平均入所者数 45.5 (目標 47)
各施設のサービス毎、目標数値の根拠を明確にし、取り組むべき課題を常に意識した施設運営をおこなった。今後も施設長会議等により取り組み結果の検証をおこない、経営改善を図っていく。

当法人の経営理念に掲げている、教育の振興・地域福祉の推進をし、地域の方々の幸福に寄与するため、国や掛川市の教育・福祉ニーズを的確に反映し、良質なサービスを安定的に提供することが求められる。そのためには、優秀な人材確保、サービスの質の向上、職員のスキルアップ、組織内の活性化等を図り、安定的な経営を目指していく。

3. 理事会の開催について

(理事の定員 6 名、監事の定員 2 名)

令和 4 年 4 月 27 日 (水) (出席理事数 5 名、出席監事数 2 名)

- 1) 議案第 1 号 令和 4 年度(仮称)城東認定こども園新築工事厨房機器一式物品購入業者選定について
- 2) 議案第 2 号 令和 4 年度特別養護老人ホームくにやす苑居室空調機更新工事業者選定について

令和 4 年 5 月 12 日 (木) (出席理事数 5 名、出席監事数 1 名)

- 1) 議案第 3 号 令和 4 年度(仮称)城東認定こども園新築工事厨房機器一式物品購入業者選定に伴う入札結果について
- 2) 議案第 4 号 令和 4 年度(仮称)城東認定こども園新築工事厨房機器一式物品購入契約について
- 3) 議案第 5 号 令和 4 年度特別養護老人ホームくにやす苑居室空調機更新工事業者選定に伴う入札結果について
- 4) 議案第 6 号 令和 4 年度特別養護老人ホームくにやす苑居室空調機更新工事請負契約について
- 5) 議案第 7 号 令和 4 年度社会福祉法人大東福社会収入支出補正予算について
- 6) 議案第 8 号 特別養護老人ホームくにやす苑保険契約について
- 7) 議案第 9 号 社会福祉法人大東福社会評議員会の開催について

令和 4 年 6 月 15 日 (水) (出席理事数 6 名、出席監事数 2 名)

- 1) 議案第 10 号 令和 3 年度社会福祉法人大東福社会事業報告について
- 2) 議案第 11 号 令和 3 年度社会福祉法人大東福社会会計収入支出決算認定について
- 3) 議案第 12 号 社会福祉法人大東福社会 評議員会の開催について

令和 4 年 7 月 21 日 (木) (出席理事数 6 名、出席監事数 2 名)

- 1) 議案第 13 号 令和 4 年度(仮称)城東認定こども園新築工事 家具備品物品購入業者選定について
- 2) 議案第 14 号 令和 4 年度(仮称)城東認定こども園新築工事 園児用机・イス備品物品購入業者選定について

令和 4 年 8 月 3 日 (水) (出席理事数 6 名、出席監事数 2 名)

- 1) 議案第 15 号 令和 4 年度(仮称)城東認定こども園新築工事 家具備品物品購入業者選定に伴う入札結果について
- 2) 議案第 16 号 令和 4 年度(仮称)城東認定こども園新築工事 家具備品物品購入契約について
- 3) 議案第 17 号 令和 4 年度(仮称)城東認定こども園新築工事 園児用机・イス備品物品購入業者選定に伴う入札結果について
- 4) 議案第 18 号 令和 4 年度(仮称)城東認定こども園新築工事 園児用机・イス備品物品購入契約について

令和 4 年 8 月 30 日 (火) (出席理事数 6 名、出席監事数 2 名)

- 1) 議案第 19 号 令和 4 年度(仮称)城東認定こども園新築工事 保育用品物品購入業者選定について
- 2) 議案第 20 号 令和 4 年度(仮称)城東認定こども園新築工事 園庭遊具等物品購入業者選定について
- 3) 議案第 21 号 令和 4 年度(仮称)城東認定こども園新築工事 複合遊具物品購入業者選定について

令和 4 年 9 月 14 日 (水) (出席理事数 6 名、出席監事数 2 名)

- 1) 議案第 22 号 令和 4 年度(仮称)城東認定こども園新築工事 保育用品物品購入業者選定に伴う入

- 札結果について
- 2) 議案第 23 号 令和 4 年度 (仮称) 城東認定こども園新築工事 保育用品物品購入契約について
- 3) 議案第 24 号 令和 4 年度 (仮称) 城東認定こども園新築工事 園庭遊具等物品購入業者選定に伴う
入札結果について
- 4) 議案第 25 号 令和 4 年度 (仮称) 城東認定こども園新築工事 園庭遊具等物品購入契約について
- 5) 議案第 26 号 令和 4 年度 (仮称) 城東認定こども園新築工事 複合遊具物品購入業者選定に伴う見
積結果について
- 6) 議案第 27 号 令和 4 年度 (仮称) 城東認定こども園新築工事 複合遊具物品購入契約について
- 7) 議案第 28 号 社会福祉法人大東福祉会 給与規程の一部改正について
- 8) 議案第 29 号 社会福祉法人大東福祉会 職員給与の改定について
- 9) 議案第 30 号 社会福祉法人大東福祉会 非常勤職員給与規程の一部改正について
- 10) 議案第 31 号 社会福祉法人大東福祉会 育児休業規程の一部改正について

令和 4 年 10 月 28 日 (金) (出席理事数 6 名、出席監事数 2 名)

- 1) 議案第 32 号 令和 4 年度 (仮称) 城東認定こども園新築工事 調理道具等物品購入業者選定について
- 2) 議案第 33 号 令和 5 年度 養護老人ホーム 小笠老人ホーム 給食業務委託契約について
- 3) 議案第 34 号 令和 4 年度 社会福祉法人大東福祉会 収入支出補正予算について
- 4) 議案第 35 号 社会福祉法人大東福祉会 評議員会の開催について

令和 4 年 11 月 25 日 (金) (出席理事数 4 名、出席監事数 2 名)

- 1) 議案第 36 号 令和 4 年度 (仮称) 城東認定こども園新築工事 調理道具等物品購入業者選定に伴う
入札結果について
- 2) 議案第 37 号 令和 4 年度 (仮称) 城東認定こども園新築工事 調理道具等物品購入契約について
- 3) 議案第 38 号 社会福祉法人大東福祉会 給与規程の一部改正について
- 4) 議案第 39 号 社会福祉法人大東福祉会 非常勤職員給与規程の一部改正について
- 5) 議案第 40 号 社会福祉法人大東福祉会 介護老人福祉施設 大東苑運営規定の一部改正について
- 6) 議案第 41 号 社会福祉法人大東福祉会 大東ショートステイサービス運営規定の一部改正につい
て
- 7) 議案第 42 号 社会福祉法人大東福祉会 大東デイサービスセンター運営規定の一部改正について
- 8) 議案第 43 号 大東デイサービスセンター介護予防・日常生活支援総合事業第 1 号通所事業 (通所介
護相当サービス) 運営規定の一部改正について
- 9) 議案第 44 号 大東デイサービスセンター掛川市介護予防・日常生活支援総合事業第 1 号通所事業 (通
所介護相当サービス A) 運営規定の一部改正について
- 10) 議案第 45 号 社会福祉法人大東福祉会 大東デイサービスセンターなかよし運営規定の一部改正に
ついて
- 11) 議案第 46 号 社会福祉法人大東福祉会 大東ヘルパーステーション運営規定の一部改正について
- 12) 議案第 47 号 社会福祉法人大東福祉会 大東ヘルパーステーション運営規定 (居宅介護及び重度訪
問介護) の一部改正について
- 13) 議案第 48 号 大東ヘルパーステーション掛川市介護予防・日常生活支援総合事業第 1 号訪問事業 (訪
問型サービス) 運営規定の一部改正について
- 14) 議案第 49 号 社会福祉法人大東福祉会 居宅介護支援事業所運営規定の一部改正について
- 15) 議案第 50 号 社会福祉法人大東福祉会 掛川市南部大東地域包括支援センター運営規定の一部改正
について
- 16) 議案第 51 号 社会福祉法人大東福祉会 介護老人福祉施設 くにやす苑運営規定の一部改正につい
て
- 17) 議案第 52 号 社会福祉法人大東福祉会 くにやすショートステイサービス運営規定の一部改正につ
いて
- 18) 議案第 53 号 社会福祉法人大東福祉会 くにやすデイサービスセンター運営規定の一部改正につい
て
- 19) 議案第 54 号 くにやすデイサービスセンター介護予防・日常生活支援総合事業第 1 号通所事業
(通所介護相当サービス) 運営規定の一部改正について

- 20) 議案第 55 号 くにやすデイサービスセンター掛川市介護予防・日常生活支援総合事業第 1 号通所事業（通所介護相当サービス A）運営規定の一部改正について

令和 5 年 1 月 27 日（金）（出席理事数 6 名、出席監事数 2 名）

- 1) 議案第 56 号 令和 3・4 年度（仮称）城東認定こども園建設工事変更請負契約書の締結について
2) 議案第 57 号 令和 3・4 年度（仮称）城東認定こども園機械設備工事変更請負契約書の締結について
3) 議案第 58 号 令和 3・4 年度（仮称）城東認定こども園電気設備工事変更請負契約書の締結について
4) 議案第 59 号 基本財産の処分について
5) 議案第 60 号 基本財産の編入について
6) 議案第 61 号 社会福祉法人大東福祉会 定款の変更について
7) 議案第 62 号 社会福祉法人大東福祉会 幼保連携型認定こども園きとうこども園運営規程の制定について
8) 議案第 63 号 社会福祉法人大東福祉会 経理規程の一部改正について
9) 議案第 64 号 社会福祉法人大東福祉会 非常勤職員給与規程の一部改正について
10) 議案第 65 号 社会福祉法人大東福祉会 公印管理規定の一部改正について
11) 議案第 66 号 社会福祉法人大東福祉会 制服貸与規程の一部改正について
12) 議案第 67 号 社会福祉法人大東福祉会 職員の個人情報に関する規程の一部改正について
13) 議案第 68 号 社会福祉法人大東福祉会 就業規則の一部改正について
14) 議案第 69 号 社会福祉法人大東福祉会 表彰規程の一部改正について
15) 議案第 70 号 社会福祉法人大東福祉会 評議員選任解任委員の選任について
16) 議案第 71 号 社会福祉法人大東福祉会 評議員会の開催について 審議途中で閉会

令和 5 年 2 月 3 日（金）（出席理事数 6 名、出席監事数 2 名）

- 1) 議案第 56 号 令和 3・4 年度（仮称）城東認定こども園建設工事変更請負契約書の締結について
2) 議案第 57 号 令和 3・4 年度（仮称）城東認定こども園機械設備工事変更請負契約書の締結について
3) 議案第 58 号 令和 3・4 年度（仮称）城東認定こども園電気設備工事変更請負契約書の締結について
4) 議案第 59 号 基本財産の処分について
5) 議案第 60 号 基本財産の編入について
6) 議案第 61 号 社会福祉法人大東福祉会 定款の変更について
7) 議案第 62 号 社会福祉法人大東福祉会 幼保連携型認定こども園きとうこども園運営規程の制定について
8) 議案第 63 号 社会福祉法人大東福祉会 経理規程の一部改正について
9) 議案第 64 号 社会福祉法人大東福祉会 非常勤職員給与規程の一部改正について
10) 議案第 65 号 社会福祉法人大東福祉会 公印管理規定の一部改正について
11) 議案第 66 号 社会福祉法人大東福祉会 制服貸与規程の一部改正について
12) 議案第 67 号 社会福祉法人大東福祉会 職員の個人情報に関する規程の一部改正について
13) 議案第 68 号 社会福祉法人大東福祉会 就業規則の一部改正について
14) 議案第 69 号 社会福祉法人大東福祉会 表彰規程の一部改正について
15) 議案第 70 号 社会福祉法人大東福祉会 評議員選任・解任委員会委員の選任について
16) 議案第 71 号 社会福祉法人大東福祉会 評議員会の開催について

令和 5 年 3 月 15 日（水）（出席理事数 5 名、出席監事数 2 名）

- 1) 議案第 72 号 社会福祉法人大東福祉会 給与規程の一部改正について
2) 議案第 73 号 社会福祉法人大東福祉会 非常勤職員給与規程の一部改正について
3) 議案第 74 号 社会福祉法人大東福祉会 定款の変更について
4) 議案第 75 号 社会福祉法人大東福祉会 特別養護老人ホーム大東苑 給食業務委託契約について
5) 議案第 76 号 社会福祉法人大東福祉会 特別養護老人ホームくにやす苑 給食業務委託契約について

- 6) 議案第 77 号 令和 4 年度城東保育園拠点区分積立金の積立について
- 7) 議案第 78 号 令和 4 年度おおさかこども園拠点区分積立金の積立について
- 8) 議案第 79 号 令和 4 年度ちはまこども園拠点区分積立金の積立について
- 9) 議案第 80 号 令和 4 年度小笠老人ホーム拠点区分積立金の積立について
- 10) 議案第 81 号 令和 4 年度社会福祉法人大東福祉会 収入支出補正予算について
- 11) 議案第 82 号 令和 5 年度社会福祉法人大東福祉会 事業計画について
- 12) 議案第 83 号 令和 5 年度役員等賠償保険加入について
- 13) 議案第 84 号 令和 5 年度社会福祉法人大東福祉会 収入支出予算について
- 14) 議案第 85 号 社会福祉法人大東福祉会 幼保連携型認定こども園きとうこども園施設長の選任について
- 15) 議案第 86 号 社会福祉法人大東福祉会 幼保連携型認定こども園ちはまこども園施設長の選任について
- 16) 議案第 87 号 社会福祉法人大東福祉会 養護老人ホーム小笠老人ホーム施設長の選任について
- 17) 議案第 88 号 社会福祉法人大東福祉会 評議員会の開催について

4. 評議員会の開催について

(評議員の定員 7 名)

令和 4 年 5 月 20 日 (金) (出席評議員数 4 名、出席理事数 1 名、出席監事数 1 名)

- 1) 議案第 1 号 令和 4 年度社会福祉法人大東福祉会収入支出補正予算について

令和 4 年 6 月 29 日 (水) (出席評議員数 7 名、出席理事数 1 名、出席監事数 1 名)

- 1) 議案第 2 号 令和 3 年度社会福祉法人大東福祉会事業報告について
- 2) 議案第 3 号 令和 3 年度社会福祉法人大東福祉会計算書類 (貸借対照表及び収支計算書) 及び財産目録の承認について

令和 4 年 11 月 7 日 (月) (出席評議員数 6 名、出席理事数 1 名、出席監事数 2 名)

- 1) 議案第 4 号 令和 4 年度社会福祉法人大東福祉会収入支出補正予算について

令和 5 年 2 月 13 日 (月) (出席評議員数 6 名、出席理事数 1 名、出席監事数 2 名)

- 1) 議案第 5 号 基本財産の処分について
- 2) 議案第 6 号 基本財産の編入について
- 3) 議案第 7 号 社会福祉法人大東福祉会 定款の変更について

令和 5 年 3 月 24 日 (金) (出席評議員数 5 名、出席理事数 1 名、出席監事数 2 名)

- 1) 議案第 8 号 社会福祉法人大東福祉会 定款の変更について
- 2) 議案第 9 号 令和 4 年度社会福祉法人大東福祉会 収入支出補正予算について
- 3) 議案第 10 号 令和 5 年度社会福祉法人大東福祉会 事業計画について
- 4) 議案第 11 号 令和 5 年度社会福祉法人大東福祉会 収入支出予算について

5. 監事監査の実施について

1. 開催日時・場所

内 容	開 催 日 時	場 所
決算監査	令和 4 年 5 月 27 日 (月) 午前 9 時 00 分～午後 5 時 00 分	城東保育園・大東苑
決算監査	令和 4 年 5 月 30 日 (月) 午前 9 時 00 分～午後 5 時 00 分	おおさかこども園・くにやす苑
決算監査	令和 4 年 5 月 31 日 (火) 午前 9 時 00 分～午後 6 時 45 分	ちはまこども園・小笠老人ホーム・本部
定期監査	令和 4 年 10 月 18 日 (火) 午前 9 時 00 分～午後 4 時 35 分	ちはまこども園・くにやす苑
定期監査	令和 4 年 10 月 21 日 (金) 午前 9 時 00 分～午後 4 時 15 分	城東保育園・大東苑
定期監査	令和 4 年 10 月 25 日 (火) 午前 9 時 00 分～午後 5 時 30 分	おおさかこども園・小笠老人ホーム・本部

6. 令和4年度社会福祉施設等の実地指導の実施について

1. 掛川市実地指導 開催日時・場所等

実施施設	開催日時	場所
大東居宅介護支援事業所	令和4年5月24日(火) 午前9時30分～午後1時00分	大東苑集会室
大東デイサービスセンター なかよし	令和5年1月19日(木) 午後1時30分～午後4時50分	ボランティア 研修室

2. 結果

実施施設	改善指導事項	是正・改善の具体的方策
大東居宅介護支援事業所	ターミナルケアマネジメントを受けることについて、利用者又はその家族の同意を得ていることが明らかでないケースが見受けられた。 加算算定を行う際には利用者、家族の同意を得て、記録に残すこと。過去において同意を得たことが明らかでないものについては返還を行う事。	ターミナルケアマネジメント加算算定に必要な同意を得たことが不明確なケースについて加算の取り下げを行い、返還した。 当該加算の算定基準について再度特定事業所会議にて職員全員に周知した。
大東デイサービスセンター なかよし	感染症又は災害を理由とする【通所介護等の介護報酬による評価の加算】の算定に当たり、算定根拠となる前年度の1月当たりの平均利用延人員数の計算が正しく行われていない。 加算の算定を行う際には、基準、事務処理手順等を確認し、要件に該当する場合のみ算定する事。誤った算定を行った期間について返還する事。	前年度の平均利用延人員数の計算方法に誤りがあった為、再度計算し、誤って算定していた期間について返還を行った。

7. 苦情解決結果について

城東保育園

■受付日 令和5年1月13日

申出人 保護者

内容 新年度の備品購入についての注文書を1月10日に配布され、説明もないのに1月13日が提出期限だった。不明な点は園に聞くように記載があったが担当は副園長としてあり、忙しそうに聞きにくい。購入品の事も現場の先生に聞いても分からない様子である。情報の共有が出来ていないのではないかと。情報の共有については日頃から出来ていないと感じる事があり、これを機会に是正して欲しい。現場の先生に保護者に対してどのような文書を配布したかを常に知らせ、職員間で情報を共有して欲しい。

来年からこども園になるが、他の園から転入してくる園児の保護者には既に新しい園の説明会を終えていると聞いている。城東保育園保護者にはまだ実施されていない。対応が遅いのではないかと。出来るだけ早い時期に説明会を実施し、来られなかった人には説明会で出た質疑事項を知らせるなどして全ての保護者が同じレベルで情報を得られるようにして欲しい。

結 果 令和5年1月21日、歳児別に用品についての詳しい説明会を実施した。また、新しいこども園での保育内容についても説明を行いほとんどの保護者に参加して頂くことが出来た。職員に対しては保護者への説明内容を職員会議で周知した。

職員間の情報共有については、ホワイトボードでの掲示や、口頭で伝えるなどしていたが、SNSを利用し、一度に職員全員に情報を発信できるソフトで周知する方法に統一した。

令和4年度 事業報告附属明細書 法人本部拠点区分

該当事項なし。

令和4年度 城東保育園拠点区分事業報告書

1 令和4年度の総括

「きとうこども園」の開園に向け、建設工事が順調に進み2月20日には完成し、引き渡しとなった。2月18日に城東保育園閉園式を行い、また、3月11日にきとうこども園完成記念式典を行った。1年を通してこども園化がスムーズに進むよう合併となる4園が園長会等で協議し、子どもたちの交流を実施した。また、保護者への説明会も園ごとに行い、こども園への期待が高まるようにした。

経営面では4月時点で0歳児は1名からスタートし、10月までに5名の受入が出来るようになったが、年度前半での増加が少なかったことで、収入減となった。昨年度と比べ、収入減が予想された為、消耗器具備品費や事務消耗品費支出の削減、ICT化の推進による印刷代の節約等、出来る限り経費の節減に努めた。

今年度も新型コロナウイルス感染予防に努めながらの運営となった。新型コロナウイルス感染者の発生により、11月に4歳児が2日間、0,1歳児が1日、1月に2歳児が3日間、2月に5歳児が3日間の登園自粛をすることとなった。その都度掛川市と連絡を取りながら各部屋の消毒や健康管理などの対応をすることで、感染を最小限に留めることができた。園行事の縮小、参加方法の工夫など、感染予防対策を講じながら、いろいろな活動を子どもたちが経験できるよう努めた。

入園率については、107.8%でスタートし、1年間で0歳児が8名増え、2月から118.9%の入園率となった。

保育面については、子どもたちが主体的に活動できるような保育環境を整え、子どもたち一人ひとりに寄り添いながら、健やかに成長できるような教育・保育を提供した。1年間のテーマを決めて行った食育集会では、職員劇を通して、子どもたちが挑戦し、頑張る心や優しい心を育むことができた。また保育園での子どもの成長を保護者と共に喜び、自信を持って楽しく育児ができるよう保護者の子育て支援を行った。

2 事業内容報告

1) 園児数月別報告 R3.4.1~R4.3.31

定員 90名 (人)

歳月	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	定員割合 (%)
4	1	14	18	20	20	24	97	107.8
5	1	14	18	20	20	24	97	107.8
6	2	14	18	20	20	24	98	108.9
7	2	14	18	20	20	24	98	108.9
8	3	14	18	20	20	24	99	110
9	3	14	18	20	20	24	99	110
10	5	15	18	20	20	24	102	113.3
11	5	15	18	20	20	24	102	113.3
12	6	15	18	20	20	24	103	114.4
1	6	15	18	20	20	24	103	114.4
2	9	16	18	20	20	24	107	118.9
3	9	16	18	20	20	24	107	118.9
合計	52	176	216	240	240	288	1212	112.2

2) 学級編成・職員数

(3月31日現在) (人)

クラス	年齢	男児	女児	計	外国人	要支援児	職員
ちゅうりっぷ1	0歳児	4	5	9	1		3
ちゅうりっぷ2	1歳児	7	9	16	3		3
あやめ	2歳児	9	9	18	1		3
きく	3歳児	7	13	20		2	2
すみれ	4歳児	8	12	20			1
さくら	5歳児	13	11	24		1	1
給食業務							4
担任外							6
計		48	59	107	5	3	23

※職員数 正規職員 12人 非常勤職員 10人 嘱託職員 1人

3) 年間主要行事

親子遠足、川遊び、お別れ遠足は中止。夏まつり、運動会は以上児のみで行った。発表会は、4、5歳児と2、3歳児とに分け、別の日で行い時間差をつけるなど工夫した。

月	行事内容	
4	なかよしの会・対面式	社会福祉施設防災訓練
5	城東学園合同引渡し訓練	11 七五三参り
	こいのぼり会	4園ふれあいの会(5歳児)
	親子バス遠足(中止)	生活発表会(4,5歳児)
6	交通教室	12 クリスマス会
	参観会(4,5歳児)	もちつき(祖父母参加なし)
	プール開き(以上児)	まめまき会
7	4園合同保育	1 茶道おさらい会
	七夕会	生活発表会(2,3歳児)
	親子野外活動(中止)	参観会(0,1,4,5歳児)
8	夏祭り(以上児)	2 お別れ遠足(北運動場)
	プール自由参観	城東保育園閉園式
9	プール納め(以上児)	ひなまつり会(以上児)
	祖父母参観会(中止)	3 お別れ会(3歳以上児)
	運動会(以上児)	茶道おさらい会(5歳児)
10	貸し切りバス遠足(フルーツパーク)	卒園式(5歳児)

4) 避難訓練(園児及び職員の合同訓練を毎月行った)

月	日	訓練種別	時間や災害状況想定	訓練目的及び内容
4	15	避難誘導 消火訓練	全体集会	火災と地震との避難方法の違い、避難場所を知らせる。“おかしも”の約束、職員体制の確認。
5	13	”	午前の一斉活動中 地震発生後出火	避難の仕方や防災頭巾の被り方を覚える。第2避難所へ避難することを覚える。
6	7	”	午前中、雨天時想定 地震発生後出火	天候による避難方法の違いを知る。
7	12	”	給食後の自由遊び中 給食室より出火	非常時には素早く、保育士の元に来る事の大切さを知る。
8	4	”	プール遊び中 地震発生後出火	プール遊び中の避難方法を知り、落ち着いて行動する。
9	13	”	給食後の自由遊び中 地震発生後出火	避難誘導・消火訓練を行う。

10	5	〃	午睡中に地震発生 給食室から出火	迅速な避難を目指す。災害発生後の対処についての確認。
11	18	〃	社会福祉施設防災訓練参加	避難誘導、炊き出し訓練、水消火器による消火訓練。
12	8	〃	給食前の自由遊び中 地震発生後出火	職員の連携の再確認。発電機を起動する。
1	17	〃	給食後の自由保育中 地震発生後出火	保育士の指示に従って慌てずに避難する。職員の連携の充実を目指す。
2	2	〃	午前中の自由保育中 近隣より出火	通報訓練。迅速な状況把握と的確な判断。
3	13	〃	給食後の自由保育中 地震発生後出火	防災意識の向上、避難方法などの総合確認。

※訓練は、火災 12 回、地震 10 回行った。コロナの関係で、城東学園の合同引き渡し訓練は中止。

※“おかしも”お「押さない」か「かけない」し「しゃべらない」も「もどらない」

5) 不審者防犯訓練

毎月の防犯訓練の中で、園児の安全確保の方法や職員間の連携、役割等の確認を行った。

6) 健康管理

月	検査内容	対象者	備考
4	尿検査（一次）	3～5 歳児	静岡県予防医学協会
5	尿検査（二次）	〃	静岡県予防医学協会
	内科検診	園児	鷺山医院
6	歯科健診	園児	中島歯科医院
	健康診断	職員	笠南医療センター
7	健康診断	職員	笠南医療センター
10	内科検診	園児	鷺山医院
	ストレスチェック	職員	静岡県予防医学協会
11	予防接種	職員	鷺山医院

※4, 5 歳児は、毎食後フッ素洗口を行った。

園児発育測定、職員保菌検査（給食担当 2 回）は毎月全員行った。

給食担当者は、年 1 回ノロウイルスの保菌検査を行った。

7) 訪問・教室

茶道教室（5 歳児）や体操教室（4, 5 歳児）、リズム遊び（5 歳児）は、月 1 回行った。

大東苑、くにやす苑訪問は、コロナウイルス感染予防のため中止した。

8) 延長保育利用者数（7：00～7：45）

月	1 日平均(人)	月	1 日平均(人)	月	1 日平均(人)
4	10.4	8	7.2	12	8.8
5	10	9	10.8	1	8.3
6	10.3	10	9.2	2	10.1
7	9.7	11	9.4	3	9.5

※年間延べ人数 2,294 人（一日平均 9.3 人）

9) 給食（食育）

栄養士は法人給食会議にて、新メニューや衛生管理等に関する情報交換を行い、よりよい給食を提供できるよう努めた。今年度は、「日本人の食事摂取基準（2020 年度版）」に基づき給与栄養目標量を設定し、それをもとに献立作成を行った。献立作成にあたり、旬の食材を使用して、季節感のある献立になるよう心掛けるとともに、バラエティーに富んだ献立になるよう努めた。

そして、年2回子どもの栄養状態を把握し、提供した食事が適切なものであったかを評価し、11月に給与栄養目標量の見直しを行った。

アレルギー体質児5名の除去食と乳児の離乳食については、個々の状態に対応できるよう保護者とクラス担任と連携をとり、調理を行った。

食育活動においては、コロナウイルスの感染状況により計画通り実施できないものもあったが、5歳児対象の出張クッキング、3つの食品群ボード“栄養列車”、その他パネルシアターや紙芝居等の媒体を使った食育指導を可能な限りで行い、子どもたちの食への興味を広げる機会となった。

保護者に対しては、食や栄養に関する情報提供、レシピ配布等を行った。また、家庭における子どもの食生活の実態を知るためのアンケート調査を7月に実施した。アンケート結果から得られた家庭での食生活の問題点や保護者のニーズを、献立作成や情報提供に活用した。

今後も、子どもたちが楽しく食事ができる環境作りや給食作りにも取り組み、様々な食育活動や給食を通して、子どもたちに食の大切さや楽しさを伝え、心身の健やかな成長を支えることが課題である。

10) 主な職員研修

①施設外研修

月 日	研 修 名	人 数	主 催 者
4月15日	特別支援教育コーディネーター研修会	1	掛川市教育委員会
4月23日	掛川小笠保育士会総会記念講演 (リモート)	3	掛川小笠保育士会
5月18日	静岡県保育連合会研修会 (リモート)	1	静岡県保育連合会
5月19日	掛川小笠保育士会給食研修会	1	掛川小笠保育士会
5月21日	かけがわ乳幼児教育未来学会記念講演 (リモート)	4	かけがわ乳幼児教育未来学会
5月24日	静岡県保育士会総会・研修会	1	静岡県保育士会
5月26日	掛川小笠保育士会給食研修会	1	掛川小笠保育士会
6月8日	かけがわ乳幼児教育未来学会健康安全研究部研修会	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
6月15日	かけがわ乳幼児教育未来学会遊び研究部研修会	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
6月22日	城東学園全体研修会	1	城東学園
6月21～23日	キャリアアップ研修会 (乳児)	1	静岡県保育連合会
6月23日	幼児教育と小学校教育の接続研修会	1	静岡県保育連合会
6月24日	かけがわ乳幼児教育未来学会発達支援研修部研修会	2	かけがわ乳幼児教育未来学会
6月27日	中堅職員研修会	1	静岡県保育連合会
7月5～7日	キャリアアップ研修会 (保護者対応)	1	静岡県保育連合会
7月22日	かけがわ乳幼児教育未来学会発達支援研修部研修会	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
7月28日	かけがわ乳幼児教育未来学会遊び研究部研修会	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
8月10日	かけがわ乳幼児教育未来学会遊び研究部研修会	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
8月23日	かけがわ乳幼児教育未来学会発達支援研修部研修会	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
8月24日	かけがわ乳幼児教育未来学会園経営部研修会	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
8月25日	かけがわ乳幼児教育未来学会遊び研究部研修会	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
8月29日	かけがわ乳幼児教育未来学会教育研究部研修会	2	かけがわ乳幼児教育未来学会
9月3日	掛川小笠保育士会研究発表	1	掛川小笠保育士会
9月8日	かけがわ乳幼児教育未来学会遊び研究部研修会	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
9月16日	かけがわ乳幼児教育未来学会健康安全研究部研修会	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
9月22日	かけがわ乳幼児教育未来学会教育研究部研修会	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
9月26日	安全管理講習		
10月25日	マネジメントスキルアップセミナー	1	

10月27日	かけがわ乳幼児教育未来学会園経営部研修会	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
10月28日	かけがわ乳幼児教育未来学会発達支援研修部研修会	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
10月29日	小笠地区乳幼児保健講演会	1	小笠地区乳幼児保健会
11月4日	かけがわ乳幼児教育未来学会遊び研究部研修会	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
11月8日	かけがわ乳幼児教育未来学会健康安全研究部研修会	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
11月19日	掛川教育の日	2	掛川小笠教育委員会
12月6日	初任職員研修会	1	静岡県保育連合会西部支部
1月26日	掛川市幼児教育と小学校教育の円滑な 接続に向けた研修会	1	掛川市こども希望課
1月28日	小笠地区乳幼児保健会講演会	2	小笠地区乳幼児保健会
2月4日	保育のつどい	1	掛川小笠保育士会

※ 城東学園研修

- ・校長園長会、教頭・教務・園務部会年4回出席
- ・全体研修会
- ・保幼小連絡会(土方小学校、中小学校、佐東小学校)各小学校年2回実施

②施設内研修

子育て支援部研修

- ・歳児別研修会(歳児別に各1回ずつ)実施
- ・新人部会、リーダー部会(年2回)実施

法人会議

- ・施設長会議、園長会、副園長会、給食会議を毎月1回実施
- ・主幹会議

会議

- ・職員会議(月1回)
- ・園内研修(月1回)
- ・リーダー研、職種別等の会議は随時実施。

11) 実習生、ボランティア

種 別	延人数	学 校 ・ 団 体 等
保育実習	4	浜松未来総合専門学校(1人)横須賀高等学校(3人)
職場体験	9	城東中学校(9人)
計	13	

12) 地域ボランティア

野球教室(3回)リズム遊び(9回)、コンサート(1回)、畑の耕作、草刈など地域のボランティアの皆さんのお力をお借りした。

令和4年度 事業報告附属明細書 城東保育園拠点区分

該当事項なし。

令和4年度 おおさかこども園拠点区分事業報告書

1 令和4年度の総括

今年度もコロナウイルス感染予防に努めながらの園運営であった。7月には4歳児2クラス3日間の閉鎖、8月後半には0歳児で3日間の登園自粛をすることになり、保護者にも迷惑をかけたが、園医や掛川市と連絡をとりあい、迅速な対応ができた結果、その後広がることもなく、終息に向かうことができた。又、園での病欠の情報を毎日ホワイトボードで保護者に発信してきたことで、保護者の感染予防に対する意識も高まり、流行には至らなかった。

今年度は乳児保護者、3、4歳児保護者、5歳児保護者にそれぞれ3回に分け育児講座を開催することができ、保護者に対し育児支援ができたと思う。講演後、保護者から「子どもとの向き合い方を改めて考えた。」「絵本の大切さがよくわかった。」「心も体も育つためにスキンシップの大切さを改めて知った。」など多くの意見が寄せられた。

保育面では、研修テーマを「心を動かして自ら行動する子」とし、探求心が育つ環境の工夫に取り組んだ。室内や廊下を使いコーナーやサーキットを作り、子どもたちが自ら遊びを選択し繰り返し取り組むことで遊びが展開できるよう工夫に努めた。12月に実施した保護者アンケートでは97%が園の取り組みに満足、やや満足しているという結果となり、園関係者評価でも職員のきめ細やかな配慮や意欲的な取り組みを評価していただいた。保育者自身も「不適切な保育」に関する研修を受けながら自身の保育を省みることで、保育に対する意識の向上につながった。

運営面では園児の途中入園を受け入れることが出来なかったが、地域の方や保護者の協力得られたことで、環境を整えることができ、園全体で経費の節減に努め、余分な支出を抑えることで目標額に近い2,200万円の積立ができた。

2 事業内容報告

1) 園児数月別報告 全体 (R4.4.1~R5.3.31)

定員300名 (1号75名、2号160名、3号65名)

歳児月	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児		5歳児		計	定員割合(%)	
					1号	2号	1号	2号		1号	2.3号
4	5	24	36	56	6	54	10	51	226	31	75.3
					50		44	36		195	
5	5	24	36	56	6	54	10	51	226	31	75.3
					50		44	36		195	
6	5	24	36	56	7	54	10	51	226	32	75.3
					49		44	36		194	
7	5	24	36	56	7	53	10	51	225	32	75.0
					49		43	36		193	
8	6	24	36	56	7	52	10	51	225	32	75.0
					49		42	36		193	
9	6	24	36	56	7	52	10	51	225	32	75.0
					49		42	36		193	
10	6	24	36	56	7	52	10	51	225	32	75.0
					49		42	36		193	
11	6	24	36	56	7	52	10	51	225	32	75.0
					49		42	36		193	
12	6	24	36	56	7	52	10	51	225	32	75.0
					49		42	36		193	
1	6	24	36	56	7	52	10	51	225	32	75.0
					49		42	36		193	
2	6	24	36	56	7	52	10	52	226	33	75.3
					49		42	36		193	
3	6	24	36	55	7	52	10	52	225	33	75.0
					48		42	36		192	

2) 学級編成

(3月31日現在 225人)

クラス	年 齢	男児	女児	計	外国人	要支援児	担任数
りんご	0歳児	4	2	6	0	0	2
いちご	1歳児	6	6	12	0	0	2
ばなな		6	6	12	0	0	2
みかん	2歳児	7	5	12	0	0	2
めろん		6	6	12	0	0	2
もも		8	4	12	0	0	2
ぱんだ	3歳児	7	7	14	1	1	1
くま		6	7	13	0	0	1
ぞう		7	7	14	2	0	1
うさぎ		7	7	14	0	1	1
さくら	4歳児	7	10	17	2	0	1
ひまわり		8	9	17	2	0	1
ばら		10	8	18	1	2	1
にじ	5歳児	12	14	26	2	0	1
そら		13	13	26	4	1	1
給食業務							8
担任外							14
支援センター							2
計		114	111	225	14	5	45

(正規職員 22人、非常勤職員 8人、嘱託職員 15人)

3) 年間主要行事

月	行事内容	月	行事内容
4	始業式	11	施設防災訓練
	入園式		七五三
	保護者会総会(書面評決)		収穫祭
5	こいのぼり集会		バス遠足(5歳児)
	ジュビロサッカー教室		親子花育教室(5歳児)
6	収穫祭		足裏測定講話(5歳児)
	プール開き	ボール遊び(5歳児)	
	座禅体験	ぽかぽか発表会(2, 3歳児)	
	園評議員会	クリスマス会	
7	七夕会	12	親子しめ縄作り(5歳児)
	夏祭り		修了式
	プール自由参観(3, 4, 5歳児)	1	始業式
	個別面談(3, 5歳児)		もちつき会
	民生委員児童委員訪問		参観会 講演会(0, 1, 2, 3, 4歳児)
8	修了式	2	豆まき会
	個別面談(0, 1, 2, 4歳児)		ぽかぽか発表会(4, 5歳児)
9	始業式		園評議員会
	引き渡し訓練		交通安全教室(5歳児)
	プール納め	園小交流会(5歳児)	
	祖父母参観(0, 1, 2, 3, 4, 5歳児)	大浜学園ふれあいコンサート(5歳児)	
10	運動会(3, 4, 5歳児)	3	ひな祭り会
	交通安全教室(4, 5歳児)		終業式
	足裏測定(5歳児)		卒園式(5歳児)

保護者の一日先生体験は合計 10 回実施した。

4) 避難訓練

年間を通して、地震、火災、保護者参加の引き渡し訓練、炊き出し訓練等、あらゆる場合を想定して訓練を実施した。

月	日	訓練種別	災害状況想定	訓練目的及び内容
4	22	避難誘導訓練	地震火災発生	避難の仕方避難場所を知る。 消火器の位置や取り扱い方法を確認する。(職員)
5	26	避難誘導訓練	保育中、地震発生後 火災発生	防災頭巾の被り方を覚える。 火災と地震の避難方法を知らせる。
6	8	避難誘導訓練	保育中、地震発生後 火災発生	避難方法、場所の確認をする。 消火器の使い方を確認する。
7	22	避難誘導訓練	保育中、地震発生後 給食室から火災発生	緊急速報を聞き落ち着いて避難する。 消火器の取扱いに慣れる。
8	5	避難誘導訓練	保育中(水遊び)、地震 発生後火災発生	水遊び中の避難の仕方を覚える。 園児への情報伝達、避難指示を知る。
9	5	避難誘導訓練	保育中、地震発生後 火災発生	逃げ遅れ者の確認。 引き渡しについての確認。
10	4	避難誘導訓練	保育中、給食室から 火災発生	地震と火災の合図の違いがわかり避難する。 放送設備の取り扱い方法の確認。
11	1	施設防災訓練	自由遊び中、 地震発生後火災発生	避難誘導、炊き出し訓練。防災庫の点検。発電機 の取り扱い。救護訓練、消防署への通報訓練。
12	6	避難誘導訓練	保育中、地震発生後 給食室から火災発生	逃げ遅れ者の確認。 消火器の持ち出し訓練。
1	17	避難誘導訓練	自由遊び中、 給食室から火災発生	職員は連携をとり役割分担の徹底を図る。 自由遊び中の人数確認の徹底。
2	8	避難誘導訓練	保育中、 地震と火災発生	避難方法、避難経路人数把握など。 水消火器を使つての模擬消火訓練。 消防署への通報訓練。
3	6	避難誘導訓練	自由遊び中、 給食室から火災発生	合図、指示を理解し、敏速に行動する。 予告なしの実施訓練にも慌てず、臨機応変に行動 する。

5) 不審者防犯訓練

毎月1回防犯訓練を行う中で、園児の安全確保の方法や職員間の連携、役割等の検討改善に努めた。

6) 健康管理

月	実施日	検査内容	対象者	備考
4	4/19	尿検査(一次)	4, 5歳児	静岡県予防医学協会
5	5/9	尿検査(二次)	4, 5歳児	静岡県予防医学協会
5・6	5/12, 5/19, 5/26	内科検診	園児全員	大貫園医
6	6/14	歯科健診	園児全員	牧野園医
6	6/16, 6/30	職員検診	職員	笠南医療センター
10	10/13, 10/20, 10/27	内科検診	園児全員	大貫園医
10		ストレスチェック	職員	静岡県予防医学協会
10	10/17, 10/19, 10/25	インフルエンザ予防接種	職員	鷲山医院

*園児は毎月発育測定、職員は毎月保菌検査を実施した。(給食職員は月2回、ノロ年1回)

*4・5歳児はフッ素洗口を毎日実施した。

7) 訪問・教室

*茶道体験(5歳児)各クラス年2回。

*大東苑・くにやす苑・小笠の郷との交流はコロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は全て中止した。

8) 延長保育利用者数 (7:00~7:29)

月	一日平均(人)	月	一日平均(人)	月	一日平均(人)
4	7	8	6.3	12	7.1
5	7.4	9	7.5	1	7.3
6	8.5	10	9.7	2	9.6
7	8.2	11	8	3	9.5

*年間延べ人数 1931名 (一日平均7.4名)

9) 給食(食育)

給食担当職員は、常に衛生面、健康面に留意しながら「季節の食材や食べることに興味を持ち、好きな食べ物が増える子」を目標に安全でおいしい給食づくり、健康な体づくりに努めた。栄養士、調理員が毎月「栄養ランド」を開いた。栄養ランドでは、食物に関するクイズや話を、子どもにわかりやすく、さらに興味を持ってもらえるような内容となるように給食職員で計画した。その様子を掲示し保護者に紹介した。今年度も引き続き対面でやることで園児一人一人の表情を感じ取ることができた。5歳児の廊下に設置している食育コーナーは、季節感を大切に、定期的に新しい媒体を作成した。実際に野菜を育て収穫する食育活動は、収穫した野菜を給食の食材として使用することで食べ物に対する興味を育むことができた。また、給食室を見学できることで、調理する姿をみせることができ、子どもたちの給食への関心が高まり、徐々に苦手な物も食べてみようとする姿勢がみられた。給食に使われている食材を、赤・黄色・緑の食べ物(3色食品群)に分類ができるように献立表に記載しているため、子どもたちにもわかりやすく、食材の分類を楽しんで取り組む姿がみられた。近年危惧されている咀嚼力の低下に着目し、定期的に「かみかみメニュー」を献立に組みこみ、園児たちの咀嚼力向上を目指したことで良く噛んで食べる姿につながった。

園で人気のレシピを給食だよりも掲載した。給食サンプルの展示をし、給食への関心を高めるよう努めた。年1回の嗜好調査では、家庭での食事状況の把握に努め、結果をおたより等で報告すると共に食育活動に反映させた。園児一人一人の身長、体重を成長曲線に記入し、個々の栄養管理に努め、栄養価の見直しにも反映させることができた。

アレルギー児対応、乳児の離乳食作りにも配慮し、園と家庭とで連絡を取りながら安全な給食提供を心掛けた。今後も子どもたちに食の大切さを伝えると共に、職員研修を通じて資質向上に努めていきたい。

10) 主な職員研修

①施設外研修

月 日	研 修 名	人 数	主 催 者
4月15日	特別支援コーディネーター研修会	1	掛川市こども希望課
4月23日	掛川小笠保育士会総会 記念講演(リモート)	1	掛川小笠保育士会
4月26日	保育連合会総会研修会	1	静岡県保育連合会
5月19日	掛川小笠給食研修会(リモート)	1	掛川小笠保育士会
5月19日	静岡県保育士会総会及び研修会(リモート)	1	静岡県保育士会
5月21日	かけがわ乳幼児未来学会総会	20	未来学会
5月31日	IT研修会	1	私立幼稚園協会
6月7日	私立幼稚園協会公開保育	1	私立幼稚園協会
6月8日	健康安全研究部「防犯講座」	1	未来学会
6月10日	第1回園務主任研修部会	1	未来学会
6月15日	第1回 リズムと表現遊び	2	未来学会
6月21日-23日	キャリアアップ	2	静岡県保育連合会
6月23日	幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けた研修会	1	掛川市学校教育課
6月24日	発達支援研究部(キャリアアップ兼)	2	未来学会
7月1日	保育士・保育教諭研修会	1	静岡県保育士会
7月5日-7日	キャリアアップ	2	静岡県保育連合会

7月13日	一貫研（ちはまこども園）	1	大浜学園
7月21日	第2回グループ研修	1	掛川小笠保育士会
7月22日	発達支援研究部 第1回講話	1	未来学会
7月22日	第1回リーダーセミナー	1	静岡県保育士会
7月25日	健康安全部会 講演会（キャリアアップ兼）	2	未来学会
7月27日	コーディネーター研修会	2	未来学会
7月28日	第2回リズムと表現遊び	1	未来学会
7月30日	療育講演会	4	未来学会
8月3日	遠州地区 夏季研修会	2	私立幼稚園協会
8月10日	第1回教材研究（キャリアアップ兼）	2	未来学会
8月22日	第2回 IT研修会	1	私立幼稚園協会
8月23日	発達支援研究部会	2	未来学会
8月24日	第2回園経営研究部会研修会（キャリアアップ兼）	2	未来学会
8月25日	遊び研究部会 第2回教材研究	1	未来学会
8月29日	第2回 園務主任研修会（キャリアアップ兼）	3	未来学会
9月3日	掛川小笠保育士会 研究発表	2	掛川小笠保育士会
9月8日	遊び研究部会 第3回リズムと表現遊び	2	未来学会
9月14日	私立幼稚園協会 公開保育	1	私立幼稚園協会
9月15日	第3回 グループ研	1	掛川小笠保育士会
9月16日	健康安全研究部 講話	1	未来学会
10月6日	キャリアデザインセミナー（リモート）	1	静岡県経済産業部 労働雇用政策課
10月7日	第2回リーダーセミナー	1	静岡県保育士会
10月12日-14日	キャリアアップ（食育・アレルギー）	2	静岡県保育連合会
10月26日	マネジメントスキルアップセミナー（リモート）	1	静岡県経済産業部 労働雇用政策課
10月29日	小笠地区乳幼児保健講演会（リモート）	1	小笠地区乳幼児保健会
10月29 11月1-2日	キャリアアップ	2	静岡県保育連合会
11月1日-2日	主任保育士・主幹保育教諭研修会	1	静岡県保育士会
11月2日	IT研修会	1	私立幼稚園協会
11月4日	第4回リズムと表現遊び	2	未来学会
11月8月	健康安全部会 講話	1	未来学会
11月15日	第3回園務主任研修会（リモート）	1	未来学会
11月17日	第4回 グループ研	1	グループ研
11月18日	保育士・保育教諭研修会	1	静岡県保育士会
1月21日	私立幼稚園協会 冬季研修会	14	私立幼稚園協会
1月26日	第2回掛川市幼児教育と小学校の円滑な接続に向けた研修会	1	掛川市
1月28日	子どもの発達を見守るために知っておきたいこと	2	小笠医師会
2月10日	保育士・保育教諭研修会	1	静岡県保育士会

大浜学園

- ・園長校長研究部会、園務教務研究部会、生徒指導研究部会に年4回ずつ出席
- ・全体研修会に5名参加
- ・園小連絡会を年2回実施

②施設内研修

- *子育て支援部歳児別部会
歳児別研修（各園1回ずつ）
中堅職員、新人職員研修（各年2回）
- *法人会議

施設長会議、園長会、副園長会、給食会議 月1回

*園内会議・研修

職員会議、園内研修(月1回)リーダー・未満児・以上児・学年会議は随時。

未来学会園経営研究部視察(6月) こども希望部園訪問(6月)

11) 実習生・ボランティア受け入れ

種別	期間	延べ人数	学校・団体等
保育実習	8月8日～8月10日	3	常葉大学(1人)
	1月16日～1月28日	10	東海こども専門学校(1人)
	2月6日～2月21日	24	浜松学院短期大学(2人)
中学生ボランティア	8月1日～8月26日	18	大浜中(4人)、城東中(6人) 大須賀中(8人)
インターンシップ	1月30日～2月3日	10	横須賀高校(2人)
計		65	

12) 地域交流活動

今年度はコロナウイルス感染予防のため、地域との交流は中止・縮小、配慮しながら実施した。

種別	期日	参加人数(名)
野菜の苗植え	5月14日	1人
じゃがいも、玉ねぎ収穫	6月2日	4人
さつまいもつるさし	6月13日	1人
さつまいも掘り	10月31日	1人
玉ねぎ植え	11月17日	2人
しめ縄作り	12月18日	13人
じゃがいも植え	2月22日	2人
計		24人

3 子育て支援センター事業

親子が気軽に利用して遊べる場、子育てをする親同士が知り合えるきっかけの場作りを目指して事業を進めてきた。今年度もコロナ感染対応として室内消毒を行い、利用者同士密にならないように配慮し感染防止に努めた。親子が利用しやすい対応や子育ての不安や悩み等を語り合ったりできる温かい雰囲気となるような環境作りを心掛け、触れ合い遊び、季節の遊び等、親子で楽しめるような内容を工夫し取り組んできた。

また、天気の良い日は支援センター横のワイーの森でのびのびと遊ぶことができ、笑顔で親子の触れ合いを楽しむ姿が見られた。

今後も地域の親子の支援の場、安心できる場として、親子に親しまれるよう新しい活動を取り入れながら支援を進めていきたい。

1) 活動内容

ホール開放、支援活動、園庭開放、絵本読み聞かせ、身体測定、電話・来園相談 等

月	支援活動内容	月	支援活動内容
4	こいのぼり作り、 母の日のプレゼント作り	10	誕生会、 ハロウィン製作
5		11	親子交通教室、散歩バック作り 誕生会、育児力アップ講座
6	誕生会、父の日のプレゼント作り、	12	クリスマスの製作、子育てフェア、歳 児別サークル

7	プール遊び、七夕飾り作り、夏祭りごっこ	1	お正月遊び、鬼のお面作り、歳児別サークル
8	プール遊び	2	誕生会、おひな様作り
9	歳児別サークル、お月見製作、祖父母プレゼント作り	3	思い出製作

開館時間 9:00～15:00 (コロナ対策の室内消毒の為11:30～13:00は休み)

2) 利用者数(延べ人数)及び相談件数

月	利用者数(人)		相談件数(件)	月	利用者数(人)		相談件数(件)
	大人	子ども			大人	子ども	
4	25	29	1	10	59	62	3
5	28	31	2	11	65	80	0
6	50	51	2	12	53	62	1
7	42	43	3	1	40	45	4
8	31	29	1	2	61	75	3
9	51	55	1	3	35	39	1
合計					540	601	22

4 一時預かり幼稚園型事業

1号認定児を保護者の希望によって教育課程修了時以降、預かり保育を行った。

月	利用延べ人数	月	利用延べ人数	月	利用延べ人数
4	68	8	77	12	107
5	82	9	75	1	93
6	87	10	86	2	128
7	93	11	109	3	114
計					1119

5 一時預かり一般型事業 令和3年11月～休止

令和4年度 事業報告附属明細書 おおさか子ども園拠点区分

該当事項なし。

令和4年度 ちはまこども園拠点区分事業報告書

1 令和4年度の総括

今年度も新型コロナウイルスの感染状況を把握しながら、安全な園生活の工夫に努めた。感染状況が落ち着いている時期は、予定通り園の活動を実施した。4月には開園後初めて保護者の会を園で開催し、クラス懇談会も実施した。9月の祖父母参観会、10月の徒歩親子遠足、小学生との交流会など、少しずついろいろな人との関わりを持つことが出来た。12月に5歳児でコロナ感染拡大を予防する為、3日間の登園自粛を実施した。また、2月にインフルエンザの感染者があったが、最小限に抑えることが出来た。

保育面では、重点目標である「たんけんするちはまの子」の具体的な姿をめざし、探検（心が動く）⇒冒険（挑戦、達成感、協力）⇒安定（安心、安全）のサイクルがスムーズとなるよう心が動く環境や援助の工夫に努めた。子どもたちの興味を引き出すような環境作りに努めたことで、主体的な遊びを引き出すことができた。その中でごっこ遊びや運動遊びを楽しみ、異年齢の交流もみられ、育ち合う姿が見られた。今年度は園内研修の充実にも努め、公開保育の実施、講師を招いて支援を要する園児への対応や不適切な保育を防止するための研修を全員で実施した。12月に実施した保護者アンケートの結果では、99%が園の取り組みに満足、やや満足しているという結果となり、園評議員による園関係者評価では、保育の充実、保護者への丁寧な対応についての意見が多く、高評価を得た。

運営面については、定員130人に対し102人と78.5%の入園率でのスタートとなった。12月から乳児の途中入園受け入れが出来、6人の園児を受け入れたが3人の退園があった。また園全体で節減に努め、家庭への通信については、ICTを活用して配信したことにより、印刷費や紙類等事務費の節約につながった。今年度の積立金は1,600万円となり、目標を達成できた。

子育て支援センター事業については、新型コロナウイルス感染予防対応をしながら週3回の開放日とし、不安を抱えている地域の未就園児の親子の相談に乗ったり子育ての楽しさを伝えたりしながら、地域に開かれた子育て支援センターとなるように努めた。

2 事業内容報告

1) 園児数月別報告 (R4.4.1~R5.3.31) 定員130名 (1号45名、2号45名、3号40名)

歳 月	0歳 児	1歳 児	2歳 児	3歳児		23	4歳児		27	5歳児		計	定員割合 (%)	
				1号	5		1号	6		1号	10			
4	6	13	14	19	1号	5	23	1号	6	27	1号	10	102	78.5
					2号	14		2号	17		2号	17		
5	6	13	14	19	1号	5	23	1号	6	27	1号	10	102	78.5
					2号	14		2号	17		2号	17		
6	6	13	14	18	1号	4	23	1号	6	27	1号	10	101	77.7
					2号	14		2号	17		2号	17		
7	6	13	14	18	1号	4	23	1号	6	27	1号	10	101	77.7
					2号	14		2号	17		2号			
8	6	13	14	18	1号	4	23	1号	6	27	1号	10	101	77.7
					2号	14		2号	17		2号	17		
9	6	13	14	18	1号	4	23	1号	6	27	1号	10	101	77.7
					2号	14		2号	17		2号	17		
10	6	12	14	18	1号	4	23	1号	6	27	1号	10	100	76.9
					2号	14		2号	17		2号	17		
11	6	12	14	18	1号	4	23	1号	6	27	1号	10	100	76.9
					2号	14		2号	17		2号	17		
12	8	13	14	18	1号	4	23	1号	6	27	1号	10	103	79.2
					2号	14		2号	17		2号	17		

歳 月	0歳 児	1歳 児	2歳 児	3歳児			4歳児			5歳児		計	定員割合 (%)	
				1号	2号		1号	2号		1号	2号			
1	9	14	14	19	1号	5	23	1号	6	27	1号	10	106	81.5
					2号	14		2号	17		2号	17		
2	9	14	14	19	1号	5	23	1号	6	27	1号	10	106	81.5
					2号	14		2号	17		2号	17		
3	9	14	14	19	1号	5	23	1号	6	27	1号	10	106	81.5
					2号	14		2号	17		2号	17		
合計	131	157	168	221	1号	53	276	1号	72	324	1号	120	1229	77.8
					2号	168		2号	204		2号	204		

2) 学級編成・職員数

3月31日現在 (人)

クラス	年 齢	男児	女児	計	外国人	要支援 児	職員
ひよこ	0歳児	4	5	9	1		3
りす	1歳児	6	8	14	2		3
うさぎ	2歳児	5	9	14	2	1	3
ぱんだ	3歳児	12	7	19	1	1	2
きりん	4歳児	13	10	23	1	2	1
ぞう	5歳児	11	16	27	3		1
給食業務							4
担任外							9
支援センター							2
計		51	55	106	10	4	28

正規 10人
非常勤 18人

3) 年間主要行事

子どもたちの興味関心を高め、育ちにつながる大切な活動でもあるため、3密を避け、安全に実施できるよう考慮しながら取り組んだ。(誕生会や発表会は学年毎、参観会や運動会は人数制限をして実施。)

月	行事内容	月	行事内容
4	入園式 始業式 尿検査	10	運動会 どんぐり拾い 内科健診 サツマイモ収穫 収穫祭 親子遠足
5	バス遠足 玉葱収穫 サッカー教室 サツマイモつるさし いちご摘み 園小合同避難訓練 内科健診 園小連絡会 交通安全教室 民生委員訪問 園小交流	11	玉葱苗植え 参観会 福祉施設防災訓練 防犯教室
6	体操教室 歯科健診 ジャガイモ掘り 家族参観 園小交流会 プール開き 園評議員訪問 花火教室	12	発表会 (4,5歳) クリスマス会 しめ縄飾り作り (5歳) 終業式
7	七夕会 夏まつり 自由参観 終業式 個別懇談	1	始業式 餅つき会 茶道体験①② 園小合同避難訓練 陶芸教室① 座禅体験 発表会(2,3歳)
8	個別懇談	2	豆まき会 交通安全教室 茶道体験③ 陶芸教室②
9	始業式 祖父母参観 個別懇談 交通安全教室	3	ひな祭り会 お別れ会 修了式 卒園式

4) 避難訓練 年間を通して12回（地震訓練9回、火災訓練2回、洪水訓練1回）を実施した。

月	日	訓練種別	災害状況想定	訓練目的及び内容
4	25	避難誘導訓練	保育中強度地震発生	地震の合図、避難方法を知る。
5	18	避難誘導訓練	保育中強度地震・津波発生	地震、津波発生。千浜小3階への避難方法を知る。
6	10	洪水誘導訓練	保育中洪水発生	洪水発生時の避難方法を知る。
7	1	避難誘導訓練	保育中強度の地震発生	地震、津波発生。千浜小への避難方法を確認する。
8	3	避難誘導訓練	水遊び中強度地震発生	水遊び中での避難方法を確認する。
9	5	総合防災訓練	保育中強度地震発生	保護者への引き渡し方法の確認をする。 防災庫の用品の確認をする。
10	24	避難誘導訓練	保育中火災発生	煙体験を実施し、火災のときの避難方法を確認する。
11	4	総合防災訓練	社会福祉施設の防災訓練 (強度地震発生後、火災発生)	様々な訓練を行い、保育者自身の災害への意識を高めていく。(消火訓練・通報訓練・炊き出し訓練・救護訓練) 防災倉庫の用品を点検。
12	15	避難誘導訓練	昼寝後、給食室より火災発生	地震と火災の避難方法の違いを理解して行動する。
1	17	避難誘導訓練	保育中強度の地震・津波発生	地震、津波発生。小学校合同避難訓練として小学校3Fまで避難をする。
2	21	避難誘導訓練	保育中強度の地震・津波発生 (抜き打ち訓練)	抜き打ちでの避難訓練を実施し、避難方法を確認する。
3	6	避難誘導訓練	保育中強度の地震発生 (抜き打ち訓練)	避難、消火活動についての確認をし、職員の災害に対する危機意識を高める。

5) 不審者訓練

年間計画に基づき年間12回の不審者訓練を行い、園児に不審者への対応や安全確保の仕方について指導した。また、掛川警察署の警察官の方に来て頂き、不審者に対しての話や実践訓練等、園児にわかりやすく指導をして頂いた。

6) 健康管理

月	実施日	検査内容	対象者	備考
4	19	尿検査	3.4.5歳児	静岡県予防医学協会
5	13・20	内科健診	園児全員	笠原園医
6	8・22	歯科健診	園児全員	安間園医
6	16・30	健康診断	職員	笠南医療センター
10	7・21	内科健診	園児全員	笠原園医
10		ストレスチェック	職員	静岡県予防医学協会
10	17・19・25	インフルエンザ予防接種	職員	鷲山医院

*4.5歳児 フッ素洗口実施 *職員の保菌検査毎月実施。(給食担当者は月2回実施)

7) 訪問・教室

茶道体験(5歳児)は年3回、体育教室(4,5歳児)は年間3回行った。

くにやす苑とは年6回(5歳児)新型コロナ感染予防対応としてリモートでの交流を行った。

8) 延長保育利用者数 (7:00~7:29)

月	一日平均(人)	月	一日平均(人)	月	一日平均(人)
4	7.40	8	7.60	12	5.80
5	7.80	9	9.20	1	6.20
6	8.60	10	6.67	2	5.20
7	8.20	11	8.20	3	7.40

※年間延べ人数 1,484人 1日平均 7.4人

9) 給食(食育)

子どもたちが給食を楽しみの一つとし、生きる力のもととなるよう、安心安全な調理を心掛け、食材や衛生面にも注意しながら調理してきた。また、アレルギー児への除去食や乳児への離乳食等も、保護者と相談しながら進めることができた。

給食担当者がクラスへ出向いて子どもたちの食べる様子を見たり、担任に聞き取りをしたりすることで個々の嗜好や適切な食事量を知り、健やかな成長に必要な栄養量の確保に努めた。

年2回、4月と10月の身体測定をもとに身体発育調査を行い、肥満ややせの判定をしながら、必要に応じて子どもと保護者に食生活の指導をした。

また、食材展示や栄養指導(もぐもぐ講座)、食育紙芝居の読み聞かせを行い、食材や栄養にも興味・関心を持たせ、食に対する意識を高めると共に食べる意欲を育て、さらに食事のマナー指導も行うことができた。畑で収穫した野菜や旬の食材は玄関に展示し、給食食材として使用し提供した。

保護者に対しては、毎日のサンプル食を展示し、アンケート調査、給食だより、玄関や廊下に手作りポスターを提示する等を通して食の大切さを発信、また家庭ですぐ試せそうな給食メニューのレシピ集も発行した。

また、おおさかこども園、城東保育園との給食会議を毎月行い、情報交換、新メニューの検討を行い、食品衛生についても最新情報を確認し合った。

10) 主な職員研修

①施設外研修

月 日	研修名	人数	主催者
4月15日	特別支援コーディネーター研修会	1	掛川市こども希望課
4月23日	掛川小笠保育士会総会、講演会	1	掛川小笠保育士会
5月18日	県保連総合研修会	1	静岡県保育連合会
5月19日	掛川小笠保育士会給食研修会	1	掛川小笠保育士会
5月21日	かけがわ乳幼児教育未来学会記念講演	10	かけがわ乳幼児教育未来学会
5月24日	県保育士会総会	1	静岡県保育士会
6月8日	かけがわ未来学会健康安全部研修会	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
6月10日	かけがわ未来学会園経営園長会	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
6月14日	かけがわ未来学会教育研究部公開保育	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
6月15日	かけがわ教育未来学会遊び研究部研修	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
6月21日~23日	キャリアアップ研修会(乳児)	1	静岡県保育連合会
6月23日	幼児教育と小学校教育の接続研修会	1	子ども希望課、学校教育課
6月24日	かけがわ未来学校発達支援研修部研修会	2	かけがわ乳幼児教育未来学会
7月5日~7日	キャリアアップ研修会(保護者対応)	1	静岡県保育連合会
7月22日	かけがわ未来学会発達支援研修部研修会	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
7月27日	特別支援コーディネーター研修会	1	掛川市こども希望課
7月28日	かけがわ未来学会遊び研究部研修会	2	かけがわ乳幼児教育未来学会
7月30日	療育講演会	1	めばえ発達センター
8月10日	かけがわ未来学会遊び研究部研修会	2	かけがわ乳幼児教育未来学会
8月23日	かけがわ乳幼児教育未来学会発達支援研	1	かけがわ乳幼児教育未来学会

8月24日	キャリアアップ研修会	1	静岡県保育連合会
8月25日	かけがわ未来学会遊び研究部研修会	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
8月29日	かけがわ未来学会教育研究部研修会	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
8月29日	キャリアアップ研修会	1	静岡県保育連合会
9月3日	掛川小笠保育士会研究発表	3	掛川小笠保育士会
9月8日	かけがわ未来学会遊び研究部研修会	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
9月15日	掛川小笠保育士会グループ研修会	1	掛川小笠保育士会
9月16日	かけがわ未来学会健康安全部研修会	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
10月6日	キャリアデザインセミナー	1	経済産業部労働雇用政策課
10月25日	マネジメントスキルアップセミナー	1	経済産業部労働雇用政策課
10月29日	小笠地区乳幼児保健講演会	1	小笠乳幼児保健会
11月1,2日	主任・主幹保育教諭研修会	1	静岡県保育士会
11月4日	かけがわ未来学会遊び研究部研修会	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
11月8日	かけがわ未来学会健康安全部研修会	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
11月14日～16日	キャリアアップ研修会（マネジメント）	2	静岡県保育連合会
11月15日	かけがわ未来学会教育研究部研修会	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
11月25日	かけがわ未来学会園経営研究部研修会	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
1月28日	小笠地区乳幼児保健会講演会	1	小笠地区乳幼児保健会
2月4日	保育の集い	3	掛川小笠保育士会
2月9日	幼児教育と小学校教育の接続に関する講演会	1	こども希望課、学校教育課
3月2日	保育所等給食関係者研修会	1	静岡県西部保健所

大浜学園

- ・園長校長研究部会、園務教務研究部会、生徒指導研究部会に年4回ずつ出席。
- ・全体研修会に4名参加。
- ・園小連絡会を年2回実施。

②施設内研修

子育て支援部研修

- ・歳児別部会を各園1回ずつ実施。
- ・新人部会、リーダー部会を年2回実施。

法人会議

- ・施設長会議、園長会、副園長会、給食会議を毎月1回実施。

園内会議・研修

- ・園内研修 月1回実施
- ・職員会議 月1回実施。
- ・支援を要する園児のケース会議を実施。
- ・掛川市こども希望部園訪問7月。

11) 実習生・ボランティア受け入れ

種 別	期 間	延べ人数	学校・団体等(実人数)
自主実習	8月	17	静岡高等学園(1)
	10月		静岡高等学園(1)
	1月		横須賀高校(2)
	3月		東海こども専門学校(1)
保育実習	5月	42	常葉大学(1)
	11月		東海こども専門学校(1)
	1月		浜松学院短期大学部(1)
	2月	常葉大学(1)	
職業体験	8月	18	城東中学校(1)
	9月		大浜中学校(5)

3年次職員研修	8月	3	掛川市立西山口小学校(1)
	計	80	

12) 地域交流・ボランティア

種 別	期 間	延べ人数	団体等
絵本読み聞かせボランティア	6月～3月	30	わたぼうし
畑の先生	5月～2月	30	千浜地区の皆様
しめ縄飾り作り指導	12月	8	千浜地区の皆様
	計	68	

3 子育て支援センター事業

利用日が週3日となっており、地域の親子が中心に利用した。親子が遊べる場、子育て中の親同士が知り合えるきっかけづくりの場として、気軽に利用してもらえるように提案してきた。

今年度も新型コロナウイルス感染予防対策をして、一度の利用が5組以上にならないよう配慮して行った。

0歳児の利用も多く、離乳食への移行や子育ての相談に対応し、栄養士による離乳食相談も行った。子育ての不安や悩み等を語り合うことができる、温かい雰囲気となるよう環境作りを心掛け製作遊びや、季節の遊び等、親子で楽しみながら子どもの成長を感じられるような内容を工夫し取り組んだ。

1) 活動内容

・センター開放日	毎週 火～木曜日	9時00分～15時00分
・支援活動	毎週 火～木曜日	10時00分～10時30分
・園庭開放	毎週 火～木曜日	10時30分～15時00分
・絵本読み聞かせ	毎週 水曜日	10時30分～
・身体測定	毎月 第2、第4火曜日	
・電話・来園相談	毎週 火～木曜日	9時00分～15時00分

月	内 容	月	内 容
4	こいのぼり作り ふれあい遊び	10	手作りおもちゃ 小麦粉粘土遊び バック作り 園外散歩
5	園外散歩 母の日のプレゼント作り 小麦粉粘土遊び 魚釣りゲーム 父の日のプレゼント作り 玉葱収穫	11	手作りおもちゃ作り 園外散歩 親子運動遊び 小麦粉年度
6	風船遊び 園外散歩 スタンプ遊び	12	クリスマス製作 (リース、ツリー、帽子)
7	七夕飾り作り 色水遊び 魚づくり 水遊び 手形製作	1	お正月遊び 手形スタンプ 鬼のお面作り 製作遊び
8	砂、水遊び 折り紙遊び 食育講座 夏祭り	2	足形スタンプ 風船遊び ひな飾り作り 母親講座
9	敬老の日のプレゼント作り スタンプ遊び 手作りおもちゃ ハロウィン飾り作り	3	小麦粉粘土遊び 園外散歩

2) 利用者数(延べ人数)及び相談件数

月	利用者数 (人)		相談件数 (件)	月	利用者数 (人)		相談件数 (件)
	大人	子ども			大人	子ども	
4	19	25	3	11	37	48	5
5	22	30	3	12	14	20	3
6	33	47	6	1	13	18	3
7	21	24	4	2	25	32	4
8	16	19	4	3	31	35	1
9	33	35	2				
10	20	23	2	合計	284	356	40

4 一時預かり幼稚園型事業

1号認定児の保護者からの申請により、教育課程終了時以降、預かり保育を行った。

月	利用延べ人数	月	利用延べ人数	月	利用延べ人数
4	51	8	37	12	58
5	52	9	62	1	67
6	53	10	58	2	77
7	32	11	68	3	95
計					710

令和4年度 事業報告附属明細書 ちはまこども園拠点区分

該当事項なし。

令和4年度 大東苑及び障害福祉拠点区分 事業報告

1. 令和4年度の総括について

施設運営理念を「共に笑顔と生きがいを与えられるケアをめざし、喜びや幸せを見いだす」と定めている。利用者の幸せに寄与することに職員が喜びや幸せを感じられるよう、日々のケアについて進んで学習し、研鑽する組織づくりを目指した。地域の欠くべからざる介護事業所として常にケアの質の検証と向上に取り組んでいくことを基本姿勢とする。安定した経営を将来に継承していくことを目指し、「利益体質の強化」、「利用率の向上」、「職員の幸福を大切にする」の3項目を重点目標とした。

(1) 利益体質の強化

①生産性の向上

ア：記録ソフトの活用～R4.6介護請求ソフトを更新し、請求のソフトとの一体化を図るべくシステムを一新した。

イ：情報機器の活用～R5.1眠りSCANを4台追加導入した(計10台)。QOL委員会での活動においてより効果的な活用方法を検証し、ケアの質の向上を目指した。

ウ：流動的な人員配置～感染による一時的、局所的な人員の不足に対し、事業所間の連携により、サービスの維持、継続に取り組んだ。

②経費削減

ア：価格の動向を確認し、値上がりが見込まれる大量消費物品については一括購入する等、価格上昇分の抑制に努めた。車両の使用状況を踏まえた更新等、備品等の購入に際しては、必要とされる質、量について都度勘案しながら購入を判断した。

イ：リース契約、派遣職員契約等を見直し、将来にわたるコスト増を意識した上で判断した。

エ：感染対応等による突発的な支出に関し、助成金、保険等を活用し経費抑制に努めた。

効果及び評価

記録・請求ソフトの更新、情報機器(スマホ、タブレット等)の活用により、記録の確認、共有の効率が上がり業務上のメリットとなっている。反面、機器操作に不慣れな職員もおり、基本的な機能を使いこなす為のフォローが必要である。時間外勤務については、職員一人当たり昨年度との比較で月平均1時間45分増えている。(令和3年度5.57h/月 令和4年度7.32h/月) システム更新に伴う事務作業、及び新型コロナウイルス感染対応による業務増の影響が大きい。

エネルギー、物品の価格上昇は引き続いている。使用量、購入量が抑制されても、経費は下がらない状況である。新型コロナウイルス感染関連費用については、衛生用品等の支給、補助金により、ある程度の補填がなされた。事業費支出は昨年度比10%増となる。うち、水道光熱費の使用量(電気、ガス、水道)は昨年を下回るが費用は昨年度比32%増となる。事務費支出は昨年度比2%増となる。うち修繕費支出が前年比29%増と大きく増加している。施設設備の老朽化により、総じて修繕、更新の時期を迎えている。収入の確保、適切な支出に向けよりきめ細やかな判断、対応が求められている。

(2) 利用率の向上

①個別ケアの充実した施設づくり

ア：個別ケアを研究テーマとした取り組みとQOL委員会での発表～各事業所で課題を設け、利用者の生活の質の向上を目指した取り組みとその成果を施設内で共有した。また、地域の介護環境の向上を目的とし他事業所に向け発表の機会を設けた。

イ：認知症介護実践研修に大東苑から2名が参加し、職場にて学びを共有した。

②ケアマネジャーとの効果的連携を目指した取り組み

ア：居宅介護支援事業所との話し合いの場として連携会議を設け、相互の良好な関係づくりと共に、適切な連携の在り方を確認した。

効果及び評価

個別ケアへの取り組みは基本的な姿勢として定着してきている。ヘルパーサービスはもとより、大東苑、ショートステイサービス、デイサービスにおける普段の活動、関わりとして認識され、プラン内容、支援する姿勢に反映されている。利用率目標と結果は以下のとおりである。

事業所	目標	結果	事業所	目標	結果
大東苑	98%	92.6%	大東ショートステイサービス	75%	76.1%
大東デイサービスセンター	80%	76.8%	大東デイサービスセンター なかよし	70%	56.8%
大東ヘルパーステーション	80%	68.1%	大東居宅介護支援事業所	月 285 件	月 279 件

(3) 職員の幸福を大切にす

①年休の取得増の取り組み

ア：有給休暇平均取得日数 13 日/人（昨年度 9.2 日/人）

有給休暇の取得増に向けた体制的な取り組みは十分ではない。

②やりがいを感じる働き方の追求

ア：職場の環境改善を目的とし、専門家のアドバイスを得ながら、令和 4 年 10 月に職員調査を実施する。経営調整会議を検討委員会とし職員の声を踏まえた取り組みを検討していく。

令和 5 年度へ継続。

効果及び評価

どのような職場がいい職場なのか、どのような環境が職員を育てるのか、という問いに対して試行錯誤しつつも、確信できる、かつ共有できる方向性を示すことが十分出来なかった。大きく構えようとすると、時間を要しがちとなり、また具体的実践が捉えにくくなる。小さなことでも確信を持った取り組み、関わりを粘り強く継続していくところから進めていきたい。

質の良いサービスを職員皆で創り上げていき、良いサービスを多くの方に利用してもらい喜んでもらう。提供する側の幸せと利用する側の幸せを目指している。ケアの質の向上が利用者へ選ばれる事業所につながるものであり、利用率の向上、維持に向けた取り組みの基本となる。支出に関しては要不要の検討を踏まえ抑制的に判断してきたところである。但し、大東苑の老朽化や、物価高騰による経費増という状況は経営的に大きな障がいとなっている。見通しが明るいという状況ではない。職員の意欲・意識がサービスの質の支えであることを基本認識とし、将来に継続していく安定したサービス、安定した利益に向けた取り組みを進めていかなければいけない。

各部署の取り組み

(大東苑)

入所率の目標である 98%を達成することが出来なかった。入所式から看取りまでの「寄り添ったケア」に向けた取り組みとして、ブロックでの活動や会議に力を入れた。一人ひとりの利用者へ目を向けた話し合いを重視し、意識統一を行うことができた。また、QOL 委員会における研究活動を各ブロックでの取り組みとした。ひとりの利用者へ寄り添い、生活の質について考えることで「その方を知る」ことができた。認知症実践者研修に参加し、認知症ケアへの理解と学びを深め、研修内容を共有することで認知症ケアの質の向上を目指した。行事については、新型コロナウイルス感染予防対応が続く中、年末に感染のまん延もあり、実施を見合わせた行事もあった。その状況の中、「夕涼み会」や「お笑いライブ」など新しい行事を計画し実施することができた。しかし、「その人らしい生活の実現」に向けた楽しみの部分に力を入れることが出来なかったことが課題である。安全面への取り組みとして、眠りスキャンを追加導入し、計 10 台を設置することができた。眠りの状態や呼吸状態を把握することで事故の予防に効果的であり、利用者の状態の変化にも素早く気づくことができた。しかし、事故対策の周知には引き続き課題があり、今後も防げる事故の減少に力を入れていきたい。

(大東ショートステイサービス)

年間を通して空き情報等を記載した文書を各居宅介護支援事業所に配布する等連携関係の構築に努め、新規利用の獲得に取り組んだ。新型コロナウイルス感染にて 8 月に 1 週間程サービスを休止した。その月の利用率は低下したものの、全体的には昨年を上回る事が出来た。利用状況として月末、月初の利用が少ない傾向にあり今後の課題である。個別ケアを目指した取り組みとしてトレーニングマシーン

を設置したが、十分に活用することが出来なかった。効果的な活用を目指し、今後のどのように取り入れていくか検討する必要がある。寒い時期に実施した汁物作りは利用者に好評であり、次年度も継続していくと共に、月に一度は季節に応じた行事を計画していきたい。これまでショートステイ会議を実施することがなかなか出来ず、情報共有、ケアの統一、課題解決に向けた研修等について課題となっていた。年度後半より会議を開催することが定着し、サービスの質の向上へ繋げている。今後は会議の時間等において研修を行い、各職員のスキルアップを目指したい。

(大東デイサービスセンター)

新型コロナウイルス感染症により、利用者や職員の急な減少等があり対応に苦慮した。利用人数により浴槽の使用数を調節したり、トイレの使用場所を減らして掃除の範囲を少なくする等状況に応じた対応と迅速な判断と実行に心掛けた。感染症に強い事業所を目指し、配席を工夫する等フロアの改造を行い、動線を確保した上で、個別対応を可能とした。趣向を凝らしたレクリエーションを準備してきたが、職員の欠員により少人数単位でのレクリエーションの提供が出来なかった。機能訓練では、それぞれの利用者に合った自宅での体操等を提案し、利用者からも感謝の言葉が聞かれた。自立支援を促すために、一人ひとりの状態の適切な把握に努め、少しでも出来る事を増やせるよう心がけた。職員においては、利用者の自宅での生活の維持、継続を目指し、求められるケアについて学ぶことが出来た。科学的介護情報システム(LIFE)の活用については、今後もフィードバックされた内容を活かしていきたい。新しい介護ソフトに更新し、効果的に活用されているところである。ペーパーレス等更なる活用を目指し、業務の効率化を進めていきたい。利用者が増える中、職員の急な休みが重なることが多く、研修に参加する事が出来なかった。今後は勤務体制を整えて研修参加し、職場で共有しながらサービスの質の向上に努めていきたい。

(大東デイサービスセンターなかよし)

利用者一人ひとりに相応しい支援を目指し、穏やかな時間を過ごすことができるよう、その日の状態に合わせて、関わり方の工夫を心掛けた。席に座っている事が出来ず、フロア内や廊下を歩き落ち着かない利用者には、一対一での関わりを基本とした。寄り添いながら、安心出来るような支援をすることができた。新型コロナウイルス感染の影響で研修参加は困難であった。専門的知識の向上に向け、学習する機会を積極的に設けていく。利用人数が少ない等、勤務状況に余裕がある時には、他部署への応援に入った。今後も他部署と連携をし、効率の良い体制が取れるよう努めたい。職員誰でも新しい介護ソフトが活用でき基本業務として定着するよう心掛けた。今後も業務効率化に向け活用していく。

(掛川市南部大東地域包括支援センター)

総合相談支援業務については、相談件数 2386 件(来所:486 件、電話:1437 件、訪問:463 件)対応。相談内容は、「認知症に関する事」が最も多く、674 件あった。令和5年度は、令和4年度新規認知症相談件数の内容の分析を行い、分析結果を法人内や地域関係者及び関係機関に周知し、課題を共有し対策を検討していきたい。独居・高齢者世帯の実態把握は、民生委員連携による実態把握と包括に寄せられた相談を含め、248 件を把握することができたが、災害時に活かせる情報集約までには至らなかった。権利擁護業務については、高齢者虐待の早期発見と迅速な介入を心掛け、再発予防に努めた。虐待対応において介護支援専門員との連携強化は十分行えたが、サービス事業所との連携が不十分であり、令和5年度は法人内事業所や圏域事業所に向けて「虐待研修」を計画し、さらなる連携強化をしていきたい。包括・継続的ケアマネジメント支援業務については、民生委員懇話会 9 回、関係者・関係機関への周知活動 53 回 402 名に実施し、協力体制の強化に努めた。介護支援専門員との連携構築やスキルアップを目的とした研修会を7回実施(5包主催:1 回含む)、圏域介護支援専門員との交流会を ZOOM にて5回実施したことで、連携は取りやすく協力体制強化にも繋がった。認知症に関する取り組みについては、「認知症ケアパス」を 149 人へ配布。「認知症サポーター養成講座」3 回、認知症関係講座 2 回実施し、認知症の理解を深めることができた。また、「認知症疾患センター」との連携 43 件実施し、医療・介護等のネットワーク体制の構築に努めた。認知症対応能力向上のための支援については、「笑顔のつどい」へ 2 回、「認知症カフェ」へ7回参加。当事者や家族への支援協力を行うことができた。令和5年度も市や社会福祉協議会と連携協力していきたい。地域ケア会議については、複合課題を抱えるケースについて、個別ケア会議 19 回(高齢者虐待:4 件、認知症:1 回、困難事例:12 回、その他:2 回)、地域ケア会議 6 回実施。今後も多職種・他機関と連携し、課題解決を目指していきたい。

(大東ヘルパーステーション及び障害福祉サービス)

営業活動として、各居宅介護支援事業所に向け月 2 回空き情報を配布し、新規利用者の獲得に努めた。今年度の新規契約数は障害サービスと併せ 15 件となる。利用状況としては、日中の時間帯に空きが多く出てしまった。朝夕の時間帯に利用希望の相談を何件か受けたが、現在の職員体制では対応できず、新規利用とならないケースもあった。登録ヘルパーを募集する等、勤務体制及び人員体制の調整を図るが十分とは言えない状況が続いている。サービスの空き時間には、事務ワークやデイサービスの応援に入った。6月から介護ソフトが変更されたが、記録がスムーズになり、残業時間が減る等業務の効率化に繋がっている。訪問時の利用者の些細な変化は職員間、各関係機関と情報共有し、状態変化の早期発見、早期対応に繋げることが出来た。職員の研修参加はほとんどできなかったが、毎月の会議でミニ研修を行い、個々の知識、技術の向上に努めた。また支援方法について都度検討を行い、サービスの統一に努めた。新型コロナウイルス感染予防対策も徹底し、感染を拡大させることのないように対応することが出来た。次年度は空き時間を有効活用し、サービスの質の向上ができるように研修に力を入れていきたい。

(大東居宅介護支援事業所)

困難事例の依頼に対しては、積極的に受け入れつつ、担当ケアマネージャーがひとりで抱え込む事の無い様、特定事業所会議や事例検討会内で取り上げ、情報共有、課題解決に向け、検討する機会を持つ様に努めた。新記録ソフトへの移行についても、担当職員を中心にスムーズに行えた。移行期については、残業時間が増えてしまったが、後半は効率的に活用できた。今年度は感染症・災害の BCP の見直し、修正を行い、教育的研修・シミュレーションを実施する。また高齢者虐待防止についても、事業所の指針及び対応マニュアルの作成を行う。令和 6 年の法改正に向けて、研修等に参加し、改訂事項の周知を図る等適切に準備、対応を進めていきたい。

2. 利用動向について

(1) 特別養護老人ホーム大東苑入所者実数月別報告 (定員 50 名)

月	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	利用率
4	1	4	14	17	12	48	96.0
5	1	4	14	16	13	48	97.4
6	1	4	16	16	13	50	97.6
7	1	4	17	15	13	50	98.4
8	1	4	17	16	9	47	97.8
9	1	4	15	16	10	46	90.8
10	1	4	14	15	11	45	91.8
11	1	4	13	16	9	43	89.8
12	1	4	14	14	9	42	85.2
1	1	4	14	14	9	42	84.6
2	1	4	16	15	9	45	88.4
3	1	4	18	15	10	48	93.6
合計	12	48	182	185	127	554	92.6

地区別入所者及び待機者状況 (令和 5 年 3 月 31 日時点)

地区	入所者	待機者	地区	入所者	待機者
掛川市	47	94	御前崎市	0	2
菊川市	2	12	県外	0	0
磐田市	0	0	計	0	110
牧之原市	0	2			

年間入退所状況

月	入所者数	退所者数	月末在苑数	月	入所者数	退所者数	月末在苑数
4	0	2	48	10	0	1	45
5	2	2	48	11	3	6	42
6	2	0	50	12	2	2	42
7	1	1	50	1	1	1	42
8	0	3	47	2	4	0	46
9	2	3	46	3	5	2	49

(2) 大東ショートステイサービス利用者延べ数月別報告 (定員 14 名)

月	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均利用人数
4	4	9	67	58	112	30	0	280	9.3
5	4	7	52	57	168	42	0	330	10.6
6	0	14	62	54	129	43	0	302	10.1
7	0	14	48	76	145	80	0	363	11.7
8	0	9	41	64	84	51	0	249	8.0
9	0	13	52	104	123	56	0	348	11.6
10	0	0	71	141	106	63	0	381	12.3
11	0	4	65	119	92	38	0	318	10.6
12	0	0	61	130	111	35	0	337	10.9
1	0	1	66	122	115	26	0	330	10.6
2	0	2	68	139	59	43	15	326	11.6
3	0	2	60	146	63	41	16	328	10.6
合計	8	75	713	1,210	1,307	548	31	3,884	10.65

(3) 大東デイサービスセンター利用者延べ数月別報告 (定員 55 名)

月	事業対象	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	利用率
4	33	25	108	396	342	52	33	0	989	69.1
5	25	24	115	442	351	54	35	0	1,046	73.1
6	22	16	122	482	356	62	29	0	1,089	76
7	24	14	96	476	382	76	30	0	1,098	76.7
8	24	19	93	502	365	73	57	0	1,133	76.2
9	27	28	99	492	329	73	64	0	1,112	77.7
10	19	22	92	527	371	62	63	0	1,156	80.9
11	26	23	90	516	331	72	56	5	1,119	78.3
12	26	33	82	523	336	67	45	0	1,112	77.6
1	24	34	75	492	302	51	40	0	1,018	77.1
2	24	38	69	497	325	49	59	0	1,061	80.4
3	23	47	70	560	368	50	60	0	1,178	79.2
合計	297	323	1,111	5,905	4,158	741	571	5	13,111	76.8

(4) デイサービスなかよし利用者延べ数月別報告 (定員 12 名)

月	要支援1	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	利用率
4	0	0	30	16	94	0	0	140	53.5
5	0	0	15	28	122	0	0	165	62.5
6	0	0	13	31	122	0	0	166	65.8
7	0	0	13	28	120	6	0	167	62.5
8	0	0	12	25	108	6	0	151	62.5
9	0	0	13	37	115	11	0	176	66.7
10	0	0	13	44	111	9	0	177	66.7
11	0	0	10	26	104	8	0	148	58.3
12	0	0	0	23	100	10	0	133	50.0
1	0	0	9	36	68	8	0	121	50.0
2	0	0	6	28	59	8	0	101	42.1
3	0	0	0	27	63	19	0	109	41.3
合計	0	0	134	349	1,186	85	0	1,754	56.8

(5) 大東ヘルパーステーション利用者延べ数月別報告（介護保険ヘルパー）

月	事業対象	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
4	0	14	16	104	144	62	80	76	496
5	0	18	17	108	127	79	83	78	510
6	0	18	9	116	122	96	80	62	503
7	0	12	15	123	133	85	81	23	472
8	0	9	8	142	130	70	82	20	461
9	0	14	9	109	126	58	79	19	414
10	0	13	9	77	153	59	75	20	406
11	0	12	6	74	162	95	76	18	443
12	0	14	9	78	150	67	80	21	419
1	0	12	8	75	121	62	82	19	379
2	0	12	8	54	177	52	76	15	394
3	0	14	9	82	196	56	73	20	450
合計	0	162	123	1,142	1,741	841	947	391	5,347

(6) 障害福祉サービス事業利用者延べ数月別報告（障害者ヘルパー）

月	精神障害者	身体障害者	計
4	22	124	146
5	25	133	158
6	20	133	153
7	21	131	152
8	26	148	174
9	21	164	185
10	24	149	173
11	22	138	160
12	21	142	163
1	21	125	146
2	19	132	151
3	22	137	159
合計	264	1,656	1,920

(7) 大東居宅介護支援事業所プラン作成実件数月別報告

月	予防	要介護 1～2	要介護 3～5	予防 (0.5)	要介護計	総計	一人当たり の件数
4	41	175	62	20.5	237	257.5	32.1
5	43	168	68	21.5	236	257.5	32.1
6	42	171	68	21	239	260	32.5
7	41	169	70	21.5	239	260.5	32.5
8	40	169	70	20	239	259	32.3
9	43	168	71	21.5	239	260.5	32.5
10	42	174	71	21	245	266	33.2
11	41	172	69	20.5	241	262.5	32.8
12	42	173	69	21	242	263	32.8
1	40	170	66	20	236	256	32
2	40	170	67	20	237	256.5	32
3	41	174	64	20.5	238	258.5	32.3
合計	496	2,053	815	249	2,629	3,117.5	32.43

(8) 南部大東地域包括支援センタープラン作成実件数月別報告

月	包括直営		他事業所委託		計
	予防	総合事業	予防	総合事業	
4	13	13	48	18	92
5	12	14	47	22	95
6	10	15	45	21	91
7	8	14	41	26	89
8	8	11	40	26	85
9	6	13	43	27	89
10	4	12	42	26	84
11	4	16	40	25	85
12	4	15	40	27	86
1	5	15	41	26	87
2	5	16	41	24	86
3	6	18	41	23	88
合計	85	172	509	291	1,057

3. 職員体制について

令和5年3月31日時点 人員体制

	特養	ショート	デイ (一般型)	デイ (認知症型)	包括	ヘルパー	居宅	合計	内産休 休職
総計	41	8	28	6	4	10	8	105	0
常勤	21	4	6	1	3	2	6	43	1
8時間非常勤 (再雇用者含)	3	2	4	3	0	4	2	18	0
短時間等	17	2	18	2	1	4	0	44	1

4. 活動・行事について

新型コロナウイルス感染予防対応による利用者の活動縮小、職員の急な休みによる行事、活動の自粛があり、年間を通して影響が大きかった。大東苑入所者に関しては、外出の機会が激減し、また施設内感染の拡大による生活制限もあり、不活性的な日が多くならざるを得なかった。面会については玄関ホールでの窓越しという方法を継続しているが、やはり伝わり伝えきれない物足りなさは依然として残る。職員の工夫により、可能な範囲で行事等を実施し、日々の彩りになっていると思う。

(大東苑)

四季折々の行事を計画していたが、年末年始にかけて事業所内で新型コロナウイルス感染がまん延した為、企画していた「忘年会」と「新年会」を実施することができなかった。また、例年8月に実施していた「夏祭り」を中止し、新しい取り組みの「夕涼み会」を企画し、夏の風物詩であるスイカや花火を楽しむことができた。年度末には、職員による「お笑いライブ」を実施したところ、好評の声も多く、感染予防による制限のある中、新しい行事として利用者に喜ばれたことは良い成果だった。しかし、新型コロナウイルスの影響もあり、利用者の個別活動や外出が少なかった。来年度は、利用者一人ひとりの趣味や楽しみを大切にし、個別の活動や外出などの取り組みに力を入れて企画していきたい。

(大東ショートステイサービス)

職員に余裕がある日などは散歩に出かけたり、季節ごとの壁面作成を利用者と一緒に行った。塗り絵や計算問題・パズルを多く用意し、余暇時間に取り組んでもらえるよう準備した。パズルや塗り絵は同じ内容の繰り返しになる場合もあり、定期的に新しいものを取り入れていく必要がある。男性利用者は、塗り絵等の活動を好まない場合もあり、余暇時間の過ごし方については検討していかなければならない。小規模ではあったが、敬老会や忘年会等の行事を実施したところ、とても喜んでくれた為、今後も計画していく。行事だけ

でなく、普段の様子やレク活動等の様子を写真に収めるようにしている。写真を家族に配る等、身近なショートステイサービスとして家族にも安心してもらえるような取り組みが出来ればと考えている。

(大東デイサービスセンター)

年間行事については、季節に応じた内容を企画し、四季を感じられる活動として実施した。誕生日会では利用者に喜んでもらえるように、ベストショットの写真撮影を行い、普段見られない表情を撮影することが出来た。午後の体操の時間に機能訓練士の指導によるダンベル体操等を行い、利用者が積極的に参加できるように努めた。歩行訓練や個別機能訓練については、意欲的に取り組めるような声掛けを心がけた。認知症予防の面も考慮した取り組みとして、塗り絵だけではなく、利用者にあった脳トレーニングを提供した。トレーニングの内容については、決まったものが多くなってしまっている。楽しんで取り組むことが出来るようなトレーニングの提供を検討していきたい。

(大東デイサービスセンターなかよし)

普段使用しているパズルであるが、新しく種類を増やし、脳トレーニングに活用できた。毎月同様の内容でレクリエーションを実施しているが、季節ごとの行事や楽しみを取り入れ、皆で楽しめるよう工夫し行った。毎月のおやつ作りは季節に合った物を作る事が出来た。利用者、職員の皆で一緒の時間を楽しく過ごすことが出来る活動を心がけていきたい。筋力低下予防も兼ねて、午後の活動に体操を取り入れて行きたい。

(1) 主な行事内容

月	大東苑	大東ショートステイサービス	大東デイサービスセンター (毎月：習字、体力測定、誕生会)	大東デイサービスセンターなかよし (毎月：おやつ作り、誕生会)
4月	お花見(桜)	お花見 おやつ作り(桜餅)	お花見(桜)	
5月	散策(つつじ)、新茶祭り	壁面作り (てるてる坊主と紫陽花)	つつじ見学、夏の花の植え付け	端午の節句
6月	スマイルショップ	梅・しそジュース作り	収穫祭(じゃが芋) さつま芋植え付け	
7月	七夕、夕涼み会(7/28)	七夕会	七夕会、保育園交流会	
8月			夏祭り	
9月	敬老会	敬老会	敬老会	敬老会
10月		運動会	運動会	
11月	秋祭り	おやつ作り(いきなり団子)	収穫祭(さつま芋)	
12月		壁面作り(クリスマスツリー) 忘年会	クリスマス会・忘年会 春の花の植え付け	クリスマス会
1月	100歳誕生会		新年会	
2月	節分豆まき会	節分会、雛飾り作り	節分会	節分会
3月	お笑いライブ	花見・散歩 おやつ作り(ぼた餅)	ひな祭り会 じゃが芋の植え付け	

5. 防災計画・安全管理等について

防災訓練では、主に地震発生後に火災が発生した状況を想定した訓練を実施した。初動から避難誘導への基本的な流れと防災設備の取り扱いについては、参加した職員には周知することができた。また、課題であった利用者の点呼は、方法を1つに決めて1年間やり通すことにより周知することができた。新型コロナウイルス感染症等に対する感染対策やゾーニング方法については、大東苑において感染症がまん延した際の経験を通し、反省と課題について確認することができた。職員通信網に関しては、防災メール以外の通信媒体についてまだ導入できていないため、機能的な体制としては不十分である。次年度は、防災訓練に参加できる職員が限られている中で防災訓練マニュアルをどのように周知していくかを課題とし取り組んでいく。また、防災マニュアルの見直しが出来ていないため、防災委員会を中心に見直しを図っていきたい。

(1) 主な防災訓練等

月	災害状況想定	訓練項目	訓練目的
4月	大地震・火災(日中)	避難誘導訓練 【大東苑】	日中に地震と火災を想定した避難誘導等の対応訓練
5月	大地震・火災(日中)	避難誘導訓練 【大東苑・ショート】	日中に地震と火災を想定した避難誘導等の対応訓練
		消火・放水訓練	水消火器と消火栓の取り扱い訓練
6月	大地震・火災(日中)	避難誘導訓練 【大東苑・ショート・デイ】	日中に地震と火災を想定した避難誘導等の対応訓練 スロープを活用した避難誘導訓練
7月	大地震・火災(夜間)	避難誘導訓練 【大東苑】	夜間に地震と火災を想定した避難誘導等の対応訓練
		情報伝達訓練	全職員へ避難誘導の応援要請を行う
8月	コロナ感染対策の為中止		
9月	大雨による土砂災害	避難誘導訓練 【大東苑・ショート】	大雨による土砂災害を想定した避難誘導等の対応訓練
10月	大地震	非常食の炊き出し訓練 【大東苑・デイ】	炊き出し訓練を行い、パックに入れて利用者に配る準備までの訓練
		放水訓練	水消火器を使用した放水訓練
		情報伝達訓練	職員の安否確認と応援要請
11月	大地震・火災(日中)	総合防災訓練 【大東苑・デイ・ショート】	大地震の発生を想定した初期消火訓練及び避難誘導訓練
		非常通報訓練	【119】で消防署への通報方法を学ぶ訓練
12月	コロナ感染症発生により中止		
1月	大地震・火災(夜間)	避難誘導訓練 【大東苑・デイ】	夜間に地震と火災を想定した避難誘導等の対応訓練
2月	大地震・火災(日中)	避難誘導訓練 【大東苑・デイ】 通報訓練	訓練を繰り返し行い、災害の時に動けるように災害への備えを身につける。
			【119】で消防署への通報方法を学ぶ訓練
3月	火災(日中)	放水訓練	消火栓・水消火器を使用した放水訓練

6. ボランティアの状況について

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
個人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	18
団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1)	(1)
月	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
個人	22	40	8	48	0	48	0	48	0	48	0	48
団体	(1)	(2)	(1)	(3)	0	(3)	0	(3)	0	(3)	0	(3)

7. 健康管理について

定期健康診断、インフルエンザワクチン接種に加え、新型コロナウイルス予防接種（入所者）を2回実施した。新型コロナウイルス感染に関しては、感染予防・感染対応により職員、利用者とも負担の大きかった1年であった。身体面、精神面への影響が懸念される状況であったが体系的なフォローは困難であった。ストレスチェックを継続的に実施しているが、統計的に大きな変化はなく、組織的に問題はないとの結果を確認した。

(1) 主な健康診断

	内 容	利用者	職 員
4月	腰椎問診実施		全職員
4月～5月	入所者定期健康診断	大東苑入所者	
6月～7月	職員定期健康診断		全職員
8月	新型コロナウイルス予防接種	大東苑入所者	
9月	安全衛生チェック		全事業所
9月～10月	入所者定期健康診断	大東苑入所者	
11月	インフルエンザ予防接種	大東苑入所者	全職員
12月	新型コロナウイルス予防接種	大東苑入所者	
1月	職員定期健康診断		夜勤従事職員
2月	ストレスチェック		全職員
定期、随時	嘱託医回診・歯科検診	大東苑入所者	

8. 定例会議等について

これまでの会議、委員会体制を継続した。委員会においては、新型コロナウイルス感染予防体制や、ケアの質向上への取り組みについて協議され、施設運営上効果的な発信がされた。

(1) 主な会議と委員会体制

	共通	大東苑・ショート	デイサービス	ヘルパー	居宅	包括
主な 会議	(毎月) 経営調整会議 苦情処理委員会 QOL委員会 衛生委員会 給食委員会 感染対策委員会 防災委員会 (随時) 交通安全委員会 地域交流委員会 (年4回) 掛川市介護保険 事業者連絡会議	(毎月) 特養会議 特養業務会議 身体拘束委員会 看取り委員会 事故対策委員会	(毎月) 大東デイミー ティング なかよしミー ティング	(毎月) ヘルパー会議	(毎週) 特定事業 所会議	責任者会議 運営協議会 相談協力員懇話会 3職種専門職会議 認知症施策会議 認知症連絡会 地域ケア会議 資質向上検討委員会 ふくしあ調整会議 ふくしあ連絡会議 ふくしあケース会議 つなぐ会実行委員会

委員会名	活動内容
QOL委員会	ケアの向上を目的とした研究発表を企画・実施する。研究成果が各事業所、大東苑全体に定着する為の体制についても提案していく。分科会として居宅事業所と各サービス事業所との連携会議を開催。11月職員研修として「Kゲーム」を実施する。3月地域関係者に向け発表会を開催。
衛生委員会	職員の健康の維持、向上に向けた取り組みとして、健康診断、ストレスチェック等を実施する。快適な職場環境の実現に向けて安全衛生チェックを実施する。
給食委員会	より豊かな食事の提供を目指し、委託業者も含め意見交換しながら、献立内容に限らず、食環境に関しての提案をしていく。
感染症対策委員会	大東苑の感染予防力を高め、衛生環境の継続的な維持を目指す。衛生研修会を企画する。新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、適切な研修の実施や感染予防に関する情報提供に取り組んだ。感染症にかかるBCPにつき各事業所にて検討を行った。
防災委員会	防災訓練の実施及び防災教育等の計画を行う。
交通安全委員会	運転に関する注意喚起を行い、年4回の交通安全運動への参加を企画する。
地域交流委員会	地域貢献を目的とした活動の計画と実施。今年度クリーン作戦実施せず。
身体拘束委員会	(大東苑) 利用者の権利擁護を基本とし、適切な判断、必要な対応について検討する。高齢者虐待を内容とした研修を行った。
看取り委員会	(大東苑) 看取りケアにあたり、その人らしい暮らしを実現するためのケアを検討し、実践していく。
事故対策委員会	(大東苑) 事故発生状況を検証し、事故防止に向け必要な対応につき検討

	し、職員に周知し、利用者のケア向上につながる取り組みをすすめる。職場での共有に課題があり、周知、徹底することを重視した。
--	--

9. 主な職員研修について

感染対応により勤務調整が不安定な状況もあり積極的な研修（OFFJT）参加は進められなかった。そのような中でも認知症リーダー研修の受講、虐待防止研修の受講等個人的な成果から組織的な展開に繋がる成果もあった。人材育成に関する研修を複数回リーダー職にて受講し、職場内研修（OJT）と人材育成のイメージの共有につながった。具体的な取り組みに結び付けていかなければいけない。階層別の研修の実施について当初より検討していたが、効果的な取り組みが出来なかった。介護技術の段階的修得と併せて、体系化していく。

(1) 施設内研修実績

月	共通	大東苑・ショート	デイサービス	ヘルパー
4月			・BCPについて ・認知症（レビー小体型認知症）について（な）	認知症について
5月			・感染対策研修 ・感染対策について（な）	接遇について
6月	衛生研修会 「嘔吐処理対応」	感染対策研修（大）	・ケアカルテの活用について ・ケアカルテについて（な）	コロナ対応について BCP
7月		虐待防止研修会	・事故対策研修 ・事故対策研修（な）	熱中症について
8月			・身体拘束・高齢者虐待防止について ・身体拘束・高齢者虐待についての研修（な）	BCPについて
9月			・褥瘡について ・褥瘡対策研修（な）	苦情について
10月		介護研修（大） （入浴・排泄・食事の注意点）	・認知症について ・認知症について（な）	褥瘡について
11月	QOL委員会研修 「Kゲーム」	事故対策委員会研修 身体拘束廃止委員会研修 「スピーチロックについて」（大）	・苦情への対応について ・苦情への対応研修（な）	
12月			・感染対策研修 ・感染対策について（な）	
1月			・事故対策研修 ・事故対策研修（な）	「看取りケア」について
2月	衛生研修会 各事業所にて実施 「感染予防対策等」	緊急時と事故対応について（大）	・防災研修 ・防災研修、衛生研修（な）	「終末期の死の兆候について」
3月			・身体拘束・高齢者虐待防止について ・身体拘束・高齢者虐待防止について（な）	ガウンテクニック確認

(2) 外部研修実績

部署	職名	年月日	人数	主催者	研修内容
大東居宅 介護支援 事業所	副主任、 介護支援専門員	R 4/4/21	3	白寿園研修センター	介護支援専門員リモート研修
	介護支援専門員	R4/6/2～	2	静岡県介護支援専門員協会	介護支援専門員更新研修
	副主任、 介護支援専門員	R4/8/16	2	白寿園研修センター	介護支援専門員リモート研修
	介護支援専門員	R4/8/23～	1	静岡県介護支援専門員協会	介護支援専門員更新研修

	介護支援専門員	R4/10/4～	1	静岡県介護支援専門員協会	静岡県主任介護支援専門員研修
	介護支援専門員	R4/10/19	1	白寿会白寿園研修センター	介護支援専門員研修
	介護支援専門員	R4/11/22～	1	静岡県介護支援専門員協会	更新研修
	介護支援専門員	R4/12/21	1	白寿会白寿園研修センター	介護支援専門員研修
	介護支援専門員	R5/2/15	1	白寿園研修センター	介護支援専門員/生活相談員研修
大東ヘルパーステーション	副主任	R4/7/13	1	安全運転管理協会	安全運転管理者 法定講習
	訪問介護員	R5/2/18	1	介護労働安定センター	介護職のためのターミナルケア
	訪問介護員	R5/2/25	1	介護労働安定センター	緊急時の介護と観察のポイント
大東苑	介護職員	R4/4/7～	1	静岡県介護福祉士会	認知症介護実践研修(実践者研修)
	介護職員	R4/4/13	1	静岡県倫理法人会	新入社員セミナー
	介護職員	R4/5/24	2	社会福祉協議会	接遇・マナー・コミュニケーション講座
	主任、介護職員	R4/7/22	2	静岡県社会福祉人材センター	福祉機器を用いた移乗動作(zoom)
	主任、介護職員	R4/8/31～	2	静岡県介護福祉士会	認知症介護実践研修
	相談員	R4/9/26	1	全国老人福祉施設協議会	介護施設における安全対策担当者養成研修
	介護職員	R4/12/22	1	介護労働安定センター	介護現場における身体拘束・虐待防止
	介護職員	R4/10/26	1	静岡県社会福祉人材センター(研修部)	ターミナルケア
	介護職員	R4/11/29	1	静岡県社会福祉協議会	福祉職員キャリアパス対応生涯研修 チームリーダーコース
	主任	R4/12/7	4	静岡県社会福祉人材センター	人手不足を正しく分析しよう
	介護職員	R5/1/30	1	静岡県社会福祉協議会	身体拘束フォーラム発表会
	主任	R5/2/22	1	中東遠地区特養職種別研究会	中東遠地区特養職種別研究会(中間管理職)
	サポートスタッフ	R5/3/1	1	東北福祉会 認知症介護研究・研修仙台センター	認知症介護基礎研修 eラーニング
大東ショートステイサービス	介護職員	R4/11/22	1	静岡県社会福祉協議会	認知症の人とのコミュニケーションとレク作りのポイント講座
	介護職員	R4/11/29	1	社会福祉協議会	令和4年度 福祉職員キャリアパス対応生涯研修 チームリーダーコース
	介護職員	R5/3/1	3	東北福祉会 認知症介護研究・研修仙台センター	認知症介護基礎研修 eラーニング
掛川市南部大東地域包括支援センター	副主任、主任介護支援専門員	R4/8/17	2	ケアマネ協議会	事例検討の研修会
	包括3職種	R4/8/20	3	静岡県CSW研究会	CSW 静岡県東部研修会
	包括3職種	R4/8/23	3	掛川市健康医療課	ふくしあの連携に向けた研修会
	社会福祉士	R4/8/31	1	静岡県	認知症ステップアップ講座
	包括3職種	R4/9/9	3	静岡県CSW研究会	CSW 研修会
	包括3職種	R4/9/13	3	ケアマネ協議会	掛川市介護支援専門員連絡協議会研修会
	社会福祉士	R4/10/12	1	訪問看護S/T	訪問看護S/T大東主催者研修会
	主任介護支援専門員	R4/10/17	1	国保連合会	国保研修会
	副主任	R4/10/25	1	静岡県	口腔フォロー講座
	社会福祉士	R4/11/7	1	掛川市長寿推進課	高齢者虐待研修会
	副主任	R4/11/10	1	静岡県	高次脳機能障害支援従事者研修
主任介護支援専門員	R4/11/11	1	ケアマネ協議会	ケアマネ協議会交流会 BCP 研修会	
主任介護支	R4/11/24	1	静岡県リハビリテーション	地域リハビリテーション研修会	

	援専門員			専門職団体協議会	
	主任介護支援専門員	R4/12/5	1	さわやか福祉財団	生活支援体制整備スキルアップ研修会
	副主任	R4/12/6	1	静岡県地域包括在宅介護支援センター協議会	包括支援センター管理職研修会
	主任介護支援専門員	R4/12/8	1	ケアマネ協議会	ケアマネ研修会
	社会福祉士	R5/1/19	1	掛川市長寿推進課	多職種研修会
	包括3職種	R5/1/27	3	医師会	主治医意見書研修会
	包括3職種	R5/1/31	3	掛川市保健医療課	ふくしあ地域診断研修会
	社会福祉士	R5/2/2	1	静岡県リハビリテーション専門職団体協議会	地域リハビリテーション研修会
	主任介護支援専門員	R5/2/7	1	静岡県 CSW 研究会	CSW 研修会
	主任介護支援専門員	R5/2/10	1	静岡県	業務評価研修会
	主任介護支援専門員	R5/2/15	1	静岡県地域包括在宅介護支援センター協議会	地域包括支援センター・在宅介護支援センター研修会
	包括3職種	R5/3/10	3	掛川市健康医療課	大東ふくしあ地域診断

10. 給食業務について

食品ロスをなくすため、デイサービスの当日キャンセルを減らす工夫をした。利用が不確定である利用者については、当日追加という形を取る等、現場、厨房双方で協力体制をとった。取り組みにより、デイサービスの当日キャンセルの減少効果が見られ、残食や食品ロス減少に繋がった。経費削減を目指し、使用する生ごみ用の袋のサイズを小さいものへ変更し、ごみ袋、残食、生ごみの削減に努めた。栄養強化加算を算定し、入所者個々のデータ管理を定期的に行うとともに、ミールラウンドを実施し、入所者の食事摂取状況を確認した。入所者個々のデータ管理を行い、ミールラウンドを実施したことにより、多職種間でのコミュニケーションも円滑となった。また入所者の状態変化にも迅速な対応ができた。新型コロナウイルス感染予防による制限が続き、外出や外食ができない中、行事食、フェアメニュー、「全国うまいもの紀行」等、新しい献立を取り入れた。季節の移り変わりを感じ、食べたことのない献立、全国各地の郷土料理等を楽しむことができた。食材の値上げが続き、食事の質の維持が難しくなっている。今後値上げが続くことも考えられるため、食品ロスをなくす努力を継続し、全ての利用者に喜んで頂ける食事提供について、都度検討していく必要がある。

11. 地域との交流について

地域の福祉交流会への講師参加、福祉懇談会での移送支援、介護事業者への研究発表会を実施した。地域包括支援センターと連携しながら、地域交流委員会の活動を中心に地域活動を積み重ねていきたい。

令和4年度 事業報告附属明細書 大東苑拠点および障害福祉居宅介護拠点区分

該当事項なし。

令和4年度 くにやす苑拠点区分事業報告書

1 令和4年度の総括について

令和4年度は、引き続きコロナ禍でも「その人らしい日常生活の実現と安心、安全、安定した施設運営」を目標に事業運営を行った。

個別ケア、ユニットケアの推進として、2名の職員がユニットリーダー研修を受講し、ユニットケアへの理解を深めた。また、コロナ禍で自由に外出できない利用者の生活の質向上のため、ミニイベントの開催やたこまんの出張販売等、施設内でも楽しんで頂ける余暇を実施した。在宅サービスの利用向上対策として、ケアマネ事業所への営業方法の見直しやInstagramを通じた情報発信に努めた。また、昨年度開始した短期集中C型サービスでは、介護保険対象前の方に利用頂くなど、新規利用者の掘り起こしに努めた。

防災対策として、日頃の避難訓練に加え、輪中設置訓練を全員に実施し、大雨対策を行った。また、停電を伴う電気点検時に、停電が発生した際に不都合なことが何であるかを再確認した。津波対策については、掛川市長と懇談の場を持つなど、次年度以降に移転も含めた対応がどうできるか検討することとした。

事故防止対策、職員の腰痛対策として安全な移乗が出来る移動式リフトと新たなスライディングボードの導入、介護ロボット補助金活用したベッドの入替を行い、業務省力化と事故軽減に努めた。節電対策として、ユニット内の電灯点灯時間の設定、ガス給湯器の一部小型化、第2期の居室エアコン更新工事等で電気使用量を前年より18,124kwh、ガス使用量を420.4m³削減することができたが、燃料費高騰により、光熱水費の削減とはならなかった。人材育成対策として、介護福祉士や介護支援専門員の資格取得を奨励し、2名の合格者を輩出した。

特養の入所状況としては、年間退所者が28名と昨年の32名より5名減少したが、新型コロナウイルスが特養内で3回発生し新規入所を延期するなどしたこともあり、年間利用率が96.8%と目標の98%に達することができなかった。ショートステイの利用状況としては、コロナウイルスによるキャンセルもあり、49.0%と目標の65%を達成することができなかった。デイサービスの利用状況としては、11月にコロナによる営業停止の影響を受けその後も利用控えが続き平均利用率70.0%と目標を達成することが出来なかった。在宅サービスの大幅な利用率低下により、介護保険収益は前年度と比較して10,000千円超の減となった。支出は、電気代、最低賃金、社会保険加入枠拡大等により約20,000千円の増となった。そのため、事業活動における経常増減差額は約25,000千円の赤字となった。

(特別養護老人ホームくにやす苑)

今年度は、「その人らしい」生活を援助するため、入居者の暮らし(生活歴、趣味、嗜好など)を理解し、個別ケアのサービスの質の向上を目指し、介護サービスを行ってきた。

運営面では、風習や季節感を重視し、夏は花火大会、冬はクリスマスケーキフォトコンテストや焼き芋大会、また季節ごとに柏餅、水まんじゅう、かき氷などを行い、お菓子の出張販売を新たに取り入れご利用者の余暇を増やすことができた。また、普段の暮らしの中でも出前を取ったり、お花見、お好み焼き会を行ったり等と日常の中にご利用者の要望を取り込むこともできた。あわせてリーダー会議で各ユニットの取り組みを発表し、それぞれの良いところを取り入れるよう職員間の情報共有を強化した。そうした取り組み状況を写真付きの文書で毎月ご家族へ送付し、ガラス越し面会だけでは伝わらない施設の様子をお伝えした。また、介護ロボット補助金等を活用し、事故防止や備品の入れ替え等に努めた。あわせて、腰痛対策として移譲用器具の検討を行い、株式会社いうら社製の移動式リフトを導入した。しかし、老朽化しているナースコールや照明器具のLED化、施設全体のWi-Fi工事、他の老朽化した機材等については、入れ替え計画を作成し、次年度以降の課題としている。

(くにやすショートステイサービス)

今年度の目標である「また泊まりたくなるショートステイサービス」を念頭に感染対策へ重点を置きながらサービス提供を行った。

運営面では、ウエルカムドリンクの継続や、季節感のある行事、毎月のおやつ作りを充実させるなど、イベントに力を入れて集客に努め、事前に各居宅介護支援事業所に実績配布時にショートステイ新聞を配布し、営業をした。結果として新規利用者79名(再契約を含む)獲得できたが、コロナ感染拡大もあり受け入れを一時中止もあり利用率の増には直結しなかった。また、家族の外出自粛やコロナによる利用控えの影響もあったように感じられた。設備面では、残り10部屋のエアコンの入替を行い、老朽化の整備と節電対策を行った。あわせて、次年度に向けてAI活用を検討し、見守り体制を充実させ、利用率アップに繋げていく。

(くにやすデイサービスセンター)

今年度は、コロナ禍における感染対策、部署目標『おひとりおひとりに居心地のよいデイサービス作りを目指す』『その人らしさを大切に生活の質が高まるように支援します』『チームワークを大切にします。』を目標に掲げ介護に取り組んだ。

運営面では、施設入所者の増加、コロナ感染症に伴う営業中止、新規利用者獲得率低下も重なり、70%に満たない月があった。そうした中、コロナ禍でも楽しめる新しいレクリエーションを積極的に企画していくことができ、今後の利用者増加に向けた運営を検討することができた。また、令和3年度終盤より開始した短期集中型通所サービス事業を積極的に受け入れ6名の契約となり、利用希望者が増加傾向にあるため、次年度は実施日を増やし、南部地域の介護予防に貢献していく。設備面では、介護レクロボット等の導入は次年度に繰り越すが、その他の活動内容の充実を見直すとともに、外部にアピールする方法を検討し、新規利用者獲得に繋げていく。

2 利用動向について

1) 特別養護老人ホームくにやす苑入所者延べ人数月別報告 (定員 80 名)

月	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	利用率
4	30	150	993	660	540	2,373	98.8%
5	31	124	1,085	636	589	2,465	99.3%
6	30	150	1,020	615	522	2,337	97.3%
7	31	155	1,043	656	558	2,443	98.5%
8	31	141	1,003	681	536	2,392	96.4%
9	30	120	1,084	555	510	2,299	95.7%
10	31	124	1,147	511	532	2,345	94.5%
11	30	120	1,144	510	515	2,319	96.6%
12	31	124	1,158	493	558	2,364	95.3%
1	31	124	1,117	493	579	2,344	94.5%
2	28	140	1,034	438	509	2,149	95.9%
3	31	155	1,180	492	543	2,401	96.8%
合計	365	1,627	13,008	6,740	6,491	28,231	96.6%

地区別入所者及び待機者状況 (令和5年3月31日時点)

市町等名	入所者数	待機者数
掛川市	60	47
菊川市	9	11
袋井市	1	0
御前崎市	7	11
牧之原市	0	2
浜松市	1	1
藤枝市	0	1
静岡市	0	1
県外	0	0
その他	0	0
計	78	74

年間入退所状況

月	入所者数	退所者数	月末在苑数	月	入所者数	退所者数	月末在苑数
4月	1	0	80	10月	3	3	77
5月	1	1	80	11月	2	2	77
6月	2	3	79	12月	2	3	76
7月	2	2	79	1月	4	2	78
8月	2	4	77	2月	1	2	77
9月	3	3	77	3月	4	3	78

2) くにやすショートステイサービス利用者延べ数月別報告 (定員 20 名)

月	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	利用率
4	0	0	48	124	95	50	24	341	57.0%
5	0	0	52	150	84	46	32	364	58.5%
6	2	0	53	162	75	47	19	358	59.5%
7	0	3	47	96	87	48	21	302	48.5%
8	0	3	24	114	101	49	17	308	49.5%
9	3	3	47	118	86	42	19	318	53.0%
10	0	0	56	94	92	53	23	318	51.5%
11	0	0	31	57	45	15	23	150	28.0%
12	0	0	48	94	76	30	11	259	42.0%
1	0	0	38	102	94	28	8	270	43.5%
2	0	0	43	90	116	17	9	275	49.0%
3	0	3	63	115	90	13	8	292	47.0%
合計	5	12	550	1316	1041	438	193	3555	49.0%

3) くにやすデイサービスセンター利用者延べ数月別報告 (定員 30 名)

月	事業対象	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	利用率
4	16	9	9	188	198	122	63	16	621	79.6%
5	11	8	9	193	178	136	65	16	616	79.0%
6	10	9	8	173	166	152	53	26	597	76.6%
7	12	8	9	161	193	143	54	28	608	78.0%
8	12	8	7	158	186	168	59	30	628	77.6%
9	11	5	8	160	171	129	51	43	578	74.0%
10	11	4	7	164	152	146	47	42	573	73.3%
11	7	2	4	113	95	99	30	40	390	56.6%
12	12	2	4	146	137	100	38	33	472	60.6%
1	11	4	4	122	120	114	22	29	426	59.3%
2	10	4	6	115	144	110	24	28	441	61.3%
3	18	8	7	138	160	130	35	30	526	65.0%
合計	141	71	82	1,831	1,900	1,549	541	361	7,713	70.1%

3 職員体制について

各ユニットについては、常勤介護職員と 8 時間非常勤介護職員あわせて 4 名の体制を基本とし、夜勤明けでの残業削減に努めた。産休取得者が今年度 2 名発生したり、産休明けの復帰時期が延長されたりするなど、介護職員の補充に苦慮した。

1) 職員配置状況

	特養	ショート	デイ	合計	うち育休産休病欠
総計	68	15	19	102	5
常勤	31	7	4	42	1
常勤6H	0	1	0	1	0
8時間非常勤(再雇用含)	11	2	3	16	3
短時間等	26	5	12	43	1

※令和5年3月末日時点、資格：介護福祉士59名、社会福祉士3名、介護支援専門員10名（出産・育児休業・病欠計5名宿直8名を含む）

4 行事報告について

今年度もコロナ禍にあり、部署、ユニットまたはフロア単位で余暇活動、誕生会、夏祭りを行った。外出については、新型コロナウイルス感染症対策もあり、今年度も外出は控えた。その代わりに施設内での行事にシフトし、喫茶ひまわりでは手作りおやつを心掛けたり、季節感のある行事を施設内で行ったりした。

1) 主な行事実績

月	行事	内容
8月	花火大会	消防署へ火器を使用する旨の申し出をし、安全に配慮し行った。夕飯後だったため、半数程度の参加ではあったが、花火の光で盛り上がる事ができた。
11月	出張たこまん	買い物をしたいという入居者様の希望を受けて実施した。自分で選んで買い物をする楽しみを味わっていただけた。
11月	オータムフェスタ	イベント委員会を中心に準備を行い感染対策として密にならないよう対応することができた。
11月	焼き芋大会	近隣の方から頂いたサツマイモを活用し、玄関前で焼き芋を行った。消防署へ火器を使用する旨の申し出をし、安全に配慮し行った。
12月	ケーキフォトコンテスト	クリスマスケーキ作り中の素敵な写真を撮り競った後、ご利用者の皆様に試食いただき好評を得た。
1月	新年のあいさつ	新年のあいさつをしながら、各ユニットに甘酒を配布した。
2月	豆まき	職員が鬼の恰好をして各ユニットを回りご利用者様に外に向かって豆を投げてください季節の行事を楽しんでいただいた。
3月	お花見ドライブ	フロアのご利用者ごとで近隣の桜スポット巡りをした。
随時	誕生会	各ユニットでゲームを行う等の企画をし、誕生者をお祝いした。
毎週月曜日	ほのぼの広場	午前10時からユニットフロアに集まり、リハビリ体操・歌・ゲーム等を実施した。恒例の行事になり、職員も交替で参加することができた。
随時	喫茶ひまわり	不定期開催で玄関ホールにて喫茶ひまわりを開店した。季節の手作りおやつ・飲み物等を提供し、会話を楽しみながらゆっくりとした時間を過ごした。
随時	生け花	当日の朝、花を仕入れご利用者様に生けていただいた。

5 防災訓練について

今年度も継続的に防災訓練を実施した。8月には静岡県災害想定システム訓練に参加した。11月には中東遠地区防災訓練、伝達訓練を行った。3月に行われる予定であった掛川市津波避難訓練は参加できなかったが、その後振り返り研修会に参加し、入居者様の避難について真剣に話し合う事ができた。また、施設独自の津波避難訓練を実施し、大東苑までの避難経路の確認を行った。

1) 防災訓練実施状況

月	訓練種別	目的・内容
5.6 5.26 5.26 5.27 5.31	地震 津波避難訓練 (花・森) 地震 津波避難訓練 (海・そら・風) 地震 津波避難訓練 (デイサービス) 地震 津波避難訓練 (ショートステイ) 地震 津波避難訓練 (大地・月・太陽)	避難塔の活用訓練 避難塔の活用訓練 避難車両の活用訓練 避難車両の活用訓練 避難塔の活用訓練
6.3 6.10 6.16	夜間想定津波避難訓練 (森・花) 夜間想定津波避難訓練 (海・そら・風) 夜間想定津波避難訓練 (大地・月・太陽)	夜間の職員・宿直体制を想定した避難訓練 夜間の職員・宿直体制を想定した避難訓練 夜間の職員・宿直体制を想定した避難訓練
各会議時 7.8 7.15	災害対策机上訓練 ユニット会議時実施 (特養8ユニット・ショート) 消火器訓練 緊急連絡網&メール訓練	避難マニュアルの理解・避難ルート・避難生活の協議 (地震・避難・避難生活) 水消火器を使用し放水訓練と消火栓の使用方法説明 苑から半径5km圏内の職員招集、伝達訓練
8.5 8.17 8.18	風水害訓練 (花・森) 風水害訓練 (海・そら・風) 風水害訓練 (大地・月・太陽)	風水害マニュアル確認 風水害マニュアル確認 風水害マニュアル確認
9.2 9.9.16 9.27	総合防災訓練 輪中設置訓練 地震津波訓練 (デイサービス)	テント設営 水害等の恐れのある時、事前に止水版設置を行う
10.21 10.28 10.31	地震津波避難訓練 (花・森・大地・月・太陽) 夜間津波避難訓練 (ショートステイ) 地震津波次男訓練 (海そら風)	避難塔活用訓練 避難等活用訓練 避難塔活用訓練
11.1 11.11	福祉施設防災の日 火災想定 情報伝達訓練災訓練 デイサービス火災想定訓練	火災想定と避難誘導 一斉メール伝達返信訓練 火災想定と避難誘導
12.23	火災想定 (ショートステイ)	火災時の対応と避難誘導訓練
1.13 1.25	火災訓練 (花・森) 火災訓練 (大地・月・太陽)	火災時の対応と避難誘導訓練 火災時の対応と避難誘導訓練
2.7 2.16	夜間火災想定時対応訓練 (森・花) 夜間火災想定時対応訓練 (海・そら・風) 夜間火災想定時対応訓練 (大地・月・太陽)	夜間警報作動時通報と非火災時の復旧 夜間警報作動時通報と非火災時の復旧 夜間警報作動時通報と非火災時の復旧
3.8 3.10	総合防災訓練 警報装置と消防設備の操作 (デイサービス)	津波避難と大東苑の避難経路確認 火災時の対応

6 ボランティアの状況について

新型コロナウイルス感染対策を十分行った上で、福祉体験や地元ボランティア (草刈り)、赤十字奉仕団等の各ボランティアを受け入れた。

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
個人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
団体	0(0)	0(0)	2(1)	2(1)	0(0)	2(1)	7(1)	9(2)	0(0)	9(2)	0(0)	9(2)
月	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
個人	2	2	0	2	0	2	1	3	0	3	0	3
団体	3(1)	10(3)	0(0)	10(3)	0(0)	10(3)	0(0)	10(3)	0(0)	10(3)	0(0)	10(3)

実=実人数 延=延べ人数 団体()=団体数 注) 草刈り除く

7 健康管理について

入所者の定期的な健康診断・職員の健康診断等については、計画に基づいて実施することができた。職員について、健康診断後の要再検・要精密の指摘者は昨年度と比較して同程度だった。嘱託医については、菅沼和人医師（内科）に入所者全員を担当して頂く体制を継続した。事故等による通院件数は前年度と比較して同程度だった。また、菅沼和人医師の指導の下、青葉ケアガーデンや法人内各老人施設と連携を取り、新型コロナウイルスワクチンの予防接種を5回目まで施設内で行うことができた。しかし、ワクチン接種済みの特養入所者や在宅サービス利用者においてコロナウイルス感染が発生し、入所の延期やサービス利用停止等の措置を行った。

1) 入所者の健康管理について

- ①胸部レントゲン 令和4年4月に実施(年1回)
- ②採血 令和4年4月・令和3年10月に実施(年2回)
- ③検尿 令和4年4月・10月に実施(年2回)
- ④歯科検診 令和4年5～6月に4回に分けて実施
- ⑤インフルエンザ予防接種 令和4年11月・12月に3回に分けて実施
- ⑥肺炎球菌ワクチン接種 令和4年9月実施
- ⑦新型コロナウイルスワクチン接種 令和4年8月・12月に実施

2) 日常検診

- 体温測定 毎日測定
- 血圧・脈拍測定 1週間に2回及び体調により随時
- 体重測定 月1回実施

3) 回診

- 嘱託医：菅沼和人医師：第1・3火曜と毎週木13：30からの回診
- ※ 訪問歯科診療・口腔ケア：1カ月に2回実施（牧野歯科医院大坂診療所）

4) 職員の健康管理

- 令和4年6月・7月健康診断（全職員対象）実施
- 令和4年11月 インフルエンザ予防接種（職員全員）2回に分けて実施
- 令和5年1月 （夜勤従事者対象）実施

5) 機能訓練について

重度化が進む中、本人と家族意向を踏まえ、状態に合わせた個別機能訓練計画書を作成し、機能訓練をした。

6) 口腔機能について

牧野歯科による口腔ケア指導については、介護職と連携し実施した。

8 定例会議について

定例会議等については、今年度も毎月第3金曜日を会議の日とし、会議時間の短縮のため、資料の事前配布を徹底した。

主な会議と委員会体制

会議名	開催時期	会議名	開催時期
代表者会議	月1回 第3金曜日	デイサービス会議	月1回
苦情処理委員会	月1回 第3金曜日	ショートステイ会議	月1回
防災会議	月1回 第3金曜日	ユニット会議	月1回 (ユニット毎)
給食会議	月1回 第3金曜日	医療的ケア対策会議	3か月毎
特養リーダー会議	月1回 第3金曜日	サービス担当者・看取り会議	随時
衛生委員会会議	月1回 第3金曜日	身体拘束廃止委員会	3か月に月1回 第3金曜日
イベント委員会	随時	衛生感染症委員会	3か月に月1回 第3金曜日
広報編集委員会	随時	事故対策委員会	3か月に月1回 第3金曜日

9 主な職員研修について

今年度も引き続き、コロナウイルスの影響を受け、リモートや動画を利用した外部・内部研修を中心に行なった。職員は、リモートや動画研修に慣れたり、出張先への移動時間や経費が削減できたりした。

1) 施設外研修

月日	研修名	部署	職種	人数	主催者
令和4年5月25日	中東遠地区特養職種別研修会	特養	栄養士	1	中東遠地区特養職種別研修会
令和4年6月16日	ケアプランの書き方について	特養	介護支援専門員	1	沼津介護支援専門員連絡協議会
令和4年6月17日	成年後見制度が必要と思われる時の対応	特養	相談員	1	東遠地域成年後見制度利用推進委員会
令和4年6月27日	衛生講習会	特養	栄養士	1	静岡県給食協会
令和4年7月8日	セーフティドライバーズコンテスト	ショート	介護職員	1	静岡県公安委員会
令和4年7月13日	安全運転管理者講習	ショート	介護職員	1	静岡県公安委員会
令和4年7月21日	絶対知ってほしい！歯科医から見た誤嚥性肺炎	特養	副施設長	1	掛川東病院
令和4年7月22日	福祉機器を用いた腰痛対策・環境整備 Web セミナー	特養	主任、他	2	静岡県社会福祉人材センター
令和4年7月26日	接遇マナー研修	特養	主任、他	2	静岡県老人福祉施設協議会
令和4年8月23日他	介護支援専門員専門課程	特養	介護支援専門員	1	静岡県介護支援専門員協会
令和4年9月2日	中東遠地区特養職種別研究会	特養	事務員	1	中東遠地区特養連絡会
令和4年9月7日	認知症ケア「日常生活支援を考える」	特養	介護職員	1	(株)リブドゥコーポレーション
令和4年9月13日他	喀痰吸引実地研修	特養	介護職員	1	磐田市立総合病院地域連携室
令和4年10月5日	浸軟予防の為のスキンケア」	特養	介護職員	2	(株)リブドゥコーポレーション
令和4年10月11日他	ユニットリーダー研修	特養	介護職員	1	日本ユニットケア推進センター
令和4年10月18日他	令和4年度社会福祉法人会計事務専門講座	特養	事務員	1	静岡県社会福祉協議会
令和4年10月27日	健康作り研修会	特養	栄養士	1	静岡県給食協会
令和4年10月31日	安全運転管理者講習	ショート	副主任	1	静岡県公安委員会
令和4年11月24日他	ユニットリーダー研修	特養	介護職員	1	日本ユニット推進センター
令和5年1月16日	令和4年度調理技術研修会	特養	栄養士	1	静岡県給食協会
令和5年1月16日	令和4年度「福祉・介護施設を対象とした感染」	特養	副施設長	1	静岡県西部健康福祉センター

令和5年2月3日	静岡県給食協会事例研究発表会	特養	栄養士	1	静岡県給食協会
令和5年2月7日	職員が主体となる組織マネジメント	特養	主任	1	静岡県働き方改革推進支援センター
令和5年2月22日	栄養士研修会	特養	栄養士	1	静岡県給食協会
令和5年3月21日他	ユニットリーダー実地研修	特養	介護職員	1	日本ユニット推進センター
令和5年3月13日	地域における公益的な取り組み	特養	主任	1	静岡県社会福祉協議会
令和5年3月22日	社会福祉施設等における原子力災害避難計画の作成研修	特養	主任	1	静岡県

2) 施設内研修（ウェブまたは、映像研修）

月 日	研 修 名	部署	職種	人数
令和4年5月16日～	感染症研修①（ノロ対応）	全部署	全職種	52
令和4年7月28日～	身体拘束廃止に係る研修①	全部署	全職種	57
令和4年7月11日～	事故対策委員会①（脆弱皮膚のスキンケア）	特養	全職種	33
令和4年10月1日～	感染症研修②（新型コロナウイルス感染症について）	特養	全職種	45
令和4年11月4日	ノロ対応	特養、ショート	介護職	4
令和5年1月12日～	ハラスメント対策セミナー	全部署	副主任以上	8
令和5年2月1日～	身体拘束廃止に関わる研修②	全部署	全職種	61
令和5年2月21日～	身体拘束廃止に関わる研修③	特養、ショート	リーダー以上	13
令和5年3月1日～	事故対策委員会②（介護記録について）	特養、ショート	全職種	23
令和4年9月1日～	介護技術（食事・排泄・入浴）	特養	全職種	6

10 給食業務について

新しい給食委託業者と契約し、1年が経過した。委託会社との関係づくりや安心安全でより良い食事提供となるよう、協力して取り組むことができた。フェアメニューと題し、毎月全国のご当地料理や地元メニューなどバリエーションのある献立内容で利用者、職員から好評な意見を頂くことができた。また、今までユニット職員が行っていた配膳対応も厨房で一部担うことになり、現場職員の負担も軽減できたと感じられた。

新型コロナウイルスが施設内でも流行したが、状況をみながら、季節のイベントを行い、手作りのおやつを提供し、普段とは違った雰囲気を味わっていただけた。設備管理については、クックチルから現地調理となったため、必要な調理器具の見直しを行った。また、設備会社の定期点検により、開苑当初から使用している冷機器等が徐々に機能低下しているとの指摘があり、来年度以降、計画的に更新を検討していく。

1) 行事食の実施状況

月	行事内容	月	行事内容
4月	オープン記念献立、季節の献立	10月	収穫祭膳、鉄火丼、ラーメンフェア
5月	端午の節句献立	11月	季節の献立
6月	初夏の献立	12月	開苑記念刺身献立、クリスマス、年越しそば
7月	七夕献立、うなぎ飯	1月	正月三が日、七草粥、甘酒
8月	夏野菜の天ぷら、カレーフェア	2月	節分献立、バレンタイン
9月	敬老祝い膳、紅白饅頭、秋の味覚	3月	ひな祭り、お彼岸

2) 衛生管理

検便（栄養士毎月、職員年2回）、厨房内の消毒、殺虫駆除（6月・11月）を実施し、衛生管理に努めた。

3) 栄養ケアマネジメント

栄養ケアマネジメントは、入所者の栄養向上のために昨年同様、他職種の協力を得て取り組んだ。

11 地域との交流について

今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染対策もあり、大人数を要する事業や直接利用者に関わる交流事業等を中止した。しかし、地元ボランティアによる草刈りや赤十字奉仕団による展示イベント、ちはまこども園とのリモート交流事業等、感染リスクの少ない交流で地域の方に様々な手助けをしていただいた。また、感染対策を行った上で小中学校等での福祉講話を延べ7回行ったり、くにやす苑北側交差点での交通安全街頭指導、静岡県が行う介護の未来ナビゲーター事業に参加したりした。そうした地域住民との交流の様子については、インスタグラム等を活用し取り組みの見える化等の情報発信を行った。

令和4年度 事業報告附属明細書 くにやす苑拠点区分

該当事項なし。

令和4年度 小笠老人ホーム拠点区分 事業報告書

1. 令和4年度の総括について

○重点目標について

(1)「入所者の皆さんが、安心して楽しく生活が送れるよう、生活の質を維持向上させる為のサービスを提供する」

入所者に、健康で明るく心豊かな生活を送って頂けるよう、施設の維持管理に努め、安心安全を心掛けた。また、11月に行った入所者に対するアンケートの結果、施設全体の満足度は(満足、やや満足)42%、(普通)49%、(不満、やや不満)9%であった。やや満足以上の満足度は、昨年に比べ24%減少した。原因を調査した結果、新型コロナウイルス感染症対策のため、講師を招かずに行った生花、手芸、体操などのクラブ活動等の満足度が減少した。なお、職員の接し方(言葉づかい、態度)は、満足度が高い傾向にあった。

入所者から食事とおやつの量、お風呂の順番、外泊や面会などの意見、要望については、分かり易く説明するなどの対応を行い、満足度の向上に努めた。

(2)「支援(介護)の重度化への対応」

支援(介護)の重度化への対応として、介護保険利用前は、生きがいデイサービスを利用し、介護保険申請後は、デイケアやデイサービス、入浴のヘルパー派遣を利用した。

また、朝礼後には、入所者全員で体操や施設周辺への散歩を行い、健康維持や転倒防止に取り組んだ。なお、散歩については、昨年に引き続き、入所者が歩いた距離を定期的に集計し、頑張って歩いたことが一目で分るよう、玄関の壁に東海道五十三次宿場地図を掲示し、励みになる工夫を行った。

2. 利用動向について

令和4年度当初の入所者は47名で、1名入所。6名が退所し、年度末には42名となった。なお、令和4年度の月平均入所者数は、当初目標の47名を1.5名下回る45.5名、平均入所率は91.0%となり、昨年の月平均入所者数よりも1.7名減少した。

日常生活動作の低下が進み、今後退所が見込まれる方もいる。安定経営を図るために、関係3市と包括支援センターに出向いて、入所対象者の掘り起こしを要望しているところであるが、令和4年度においては、施設の有効活用を図るため、法人単独事業である短期入所などのPRを積極的に行ったことにより、高い入所率を維持することが出来た。

(1)入退所者状況 定員50名

月	入 所			退 所			入所者数(月末)			利用率(%)
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
4	0	1	1	1	0	1	21	26	47	94
5	0	0	0	0	0	0	21	26	47	94
6	0	0	0	0	0	0	21	26	47	94
7	0	0	0	0	0	0	21	26	47	94
8	0	0	0	0	0	0	21	26	47	94
9	0	0	0	0	0	0	21	26	47	94
10	0	0	0	0	1	1	21	25	46	92
11	0	0	0	0	1	1	21	24	45	90
12	0	0	0	1	0	1	20	24	44	88
1	0	0	0	0	0	0	20	24	44	88
2	0	0	0	0	1	1	20	23	43	86
3	0	0	0	0	1	1	20	22	42	84
計	0	1	1	2	4	6	20.6	24.8	45.5	91

*退所理由 入院3名、自宅復帰0名、他施設3名、死亡0名

(2) 地区別入所者状況 令和5年3月末現在

市名	男	女	計	比率(%)
菊川市	5	3	8	19.1
御前崎市	0	0	0	0.0
掛川市	12	17	29	69.1
磐田市	2	0	2	4.7
森町	1	2	3	7.1
計	20	22	42	100%

(3) 介護認定の状況 令和5年3月末現在

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	1	0	1	2	0	1	0	5
女	0	0	3	1	0	0	0	4
計	1	0	4	3	0	1	0	9

(4) 身体障害者手帳・療育手帳取得の状況 令和5年3月末現在

手帳区分	内容	男	女	計
身体障害者	視覚障害	0	2	2
	聴覚言語障害	0	1	1
	肢体不自由	2	3	5
	精神	3	0	3
	内部障害	2	0	2
療育	療育A	0	1	1
	療育B	2	0	2
計		9	7	16

(5) 短期入所利用状況（入所を前提としたショート利用）

項目	令和4年度	(参考 令和3年度)
利用者数	3名	(4名)
利用日数	38日	(94日)

3. 職員体制について

○職員配置状況 ※令和5年3月末現在：職員資格 介護福祉士12名 社会福祉主事3名

	施設長	相談員	支援員	事務員	看護師	栄養士	夜勤支援	宿直	嘱託医	合計
総計	1	2	5	3	1	1	4	6	1	24
常勤	1	1	4	1	1	0	0	0	0	8
8時間非常勤 (再雇用者含)	0	1	1	0	0	1	0	0	0	3
短時間等	0	0	0	2	0	0	4	6	1	13

4. 行事報告について

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、行事の中止や縮小を行った。日帰りバス旅行等の外出、いきいき交流会、園児との交流会は、感染症対策により中止となった。入所者が楽しみにしている外食ツアーは中止としたが、希望者には、市内飲食店に昼食を注文するテイクアウトを行った。

実施月日	行 事	内 容
4月21日	おやつ作り	柏餅を作り、おやつ時に食べた。(参加者：入所者12名)
5月27日	梅の収穫	ホーム内の梅の木で収穫して、梅糖につけた。24.6kg
6月16日	夜間避難訓練	夜間支援員、宿直管理人、日勤職員が参加し、夜間避難訓練を行った。
7月4日	七夕飾り	七夕飾りを作り、竹に願い事を書いた短冊と一緒に付けた。スイカを飾る。
7月5日	盆供養・法話	貞永寺住職によるお盆供養と法話・お念仏を唱えた。
7月7日	かき氷喫茶	おやつにかき氷を作り楽しく食べた。
7月14日	テイクアウト	七海でお弁当をテイクアウトし、召し上がった。(参加者：入所者19名)
7月28日	納涼祭	施設のみで、昼食を食べながら歌・踊り・余興を楽しんだ。
8月4日	かき氷喫茶	おやつにかき氷を作り楽しく食べた。
8月30日	かき氷喫茶	おやつにかき氷を作り楽しく食べた。
9月13日	敬老会	入所者と職員で敬老会式典を行った。おやつバイキングをおこなった。
9月22日	彼岸供養・法話	貞永寺住職によるお彼岸の供養と法話・お念仏を唱えた。
10月6日	夜間避難訓練	夜間支援員、宿直管理人、日勤職員が参加し、夜間避難訓練を行った。
10月20日	おやつ作り	あんまきを作りおやつ時に食べた。(参加者：入所者10名)
12月1日	忘年会	入所者と職員で踊りと歌、余興を行い、楽しい時間を過ごした。
12月23日	クリスマスケーキ	長栄堂のカップケーキをおやつ時に食べた。
2月3日	節分	玄関で年男・年女による豆まきを行い、福を迎え鬼は追い出した。
2月16日	カラオケ会	入所者と職員の歌の披露で楽しんだ。
2月20日	お花見(梅)	黒田代官屋敷に「梅の花」を見に行った。(参加者：入所者10名、職員4名)
3月2日	彼岸供養・法話	貞永寺住職によるお彼岸の供養と法話・お念仏を唱えた。
3月30日	おやつ作り	桜もち作り、おやつ時に食べた。(参加者：入所者名)

5. 防災訓練について

職員が少ない日直及び夜勤体制下での火災発生を想定した避難訓練を重点的に実施した。

なお、高齢化に伴い、歩行が不安定な入所者が増えているため、職員が少ない時にどう判断し、どのように行動することが適切であるのか見直しを行った。また、昨年に引き続き、地震発生を想定し、本部及び各編成班の機能が、効果的に発揮することを目的とした訓練を実施した。

地域の協力体制は不可欠であるため、10月と12月に合同の防災訓練を計画していたが、新型コロナウイルス感染症対策を優先し、地域の方の参加は取り止め、入所者と職員で行った。

入所者、職員とも、現在の施設や地域の状況を踏まえ、安全が確保できる取り組みが定着してきている。

防災訓練の実施状況

実施月日	訓練種別	目的・内容
4月12日	避難誘導訓練 消火栓放水訓練	日直体制下における火災発生を想定し、避難誘導訓練を実施した。また、消火栓の正しい使用方法の確認も行った。
4月21日	情報伝達訓練	各職員へ電話による情報伝達訓練を行った。
実施月日	訓練種別	目的・内容

5月日	情報伝達訓練	各職員へSNSによる情報伝達訓練を行った。
5月19日	避難誘導訓練 消火栓放水訓練	日直体制下における火災発生を想定し、避難誘導訓練を実施した。また、消火栓の正しい使用方法の確認も行った。
5月9日～5月15日	夜勤職員防災設備の点検	夜勤職員が防災器具の設置状況を確認した。
6月16日	避難誘導訓練	夜勤体制下における火災発生を想定し、消火活動・避難誘導訓練を実施した。夜勤支援員及び管理人も参加するよう呼びかけた。
7月21日	避難誘導訓練	日勤体制下における火災発生を想定し、避難誘導訓練を実施した。
8月9日	土砂災害及び風水害訓練	土砂災害及び風水害時に職員が円滑かつ迅速な対応ができ、利用者の安全を確保することを目的に行った。訓練終了後、ストレッチャー及び担架での搬送訓練を行った。
9月15日	地震総合防災訓練	南海トラフ地震に関連する情報（臨時）が発せられたと想定し、災害応急対策訓練を実施した。終了後、職員の本部立ち上げ訓練を実施し、担当班で昨年度からの課題や新たな検討課題を協議した。
10月6日	避難誘導訓練（夜間）	夜間帯での避難訓練を実施することで、少ない職員体制での動きの基本を確認し、入所者の安全を確保することを目的に行った。
11月17日	避難誘導訓練 非常通報装置訓練	日直体制下における火災発生を想定し、避難誘導訓練を実施した。また、実際に消防署に火災の通報をし、消防署からの逆信に応える訓練も実施した。
12月13日	地震防災訓練	日勤体制下における突発地震発生を想定し、避難誘導訓練を実施した。また、入所者を交え、発電機・投光器の使い方のデモンストレーションを行った。
1月19日	職員本部立ち上げ訓練	職員は本部を立ち上げ、担当班に分かれ、9月協議の課題検討や新たな検討課題を話し合った。
2月14日	地震防災訓練 起震者の体験と炊き出し訓練	消防署に起震車体験を依頼。消防署の指導のもと、入所者・職員が起震車を体験し地震の恐さを知り、実際の地震に備える。
3月16日	避難誘導訓練 非常通報装置訓練 消火器消火訓練	日勤体制下における火災発生を想定し、通報・消火活動と避難誘導訓練を実施し、消火栓の正しい使用方法の確認をした。また、実際に消防署に火災の通報をし、消防署からの逆信に応える訓練も実施した。

6. ボランティアの状況について

実=実人数 延=延べ人数 団体（）=団体数

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
個人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
団体	0 (0)	0 (0)	14 (1)	14 (1)	0 (0)	14 (1)	0 (0)	14 (1)	0 (0)	14 (1)	0 (0)	14 (1)
月	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
個人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
団体	29 (2)	43 (3)	0 (0)	43 (3)	0 (0)	43 (3)	0 (0)	43 (3)	0 (0)	43 (3)	0 (0)	43 (3)

7. 健康管理について

入所者の身体能力に応じて、出来る限り自立した生活が維持できるように、朝礼後に朝の体操を実施した。また、真夏や真冬、梅雨等で散歩ができない時期には、ビデオ体操を日に2回行った。散歩は施設周りや施設を出た外周りのコースを設け、各自が体調に応じて参加した。

入所者の高齢化に伴い、筋力低下、認知力、視力の低下が見られ、転倒事故が37件あった。転倒した場所は風呂場、集会室、トイレ、廊下、居室、物干し場であった。転倒者の内訳は、5回転倒した方3名、3回転倒した方5名、他7名は1回転倒であった。昨年度に比べ転倒者は増加し、同じ方が何度も転倒している。また、今年度は転倒による骨折があり、3名が大腿骨頸部骨折、1名が腰椎圧迫骨折をしている。他の事故として、誤薬事故が1件、無断外出が1件あった。誤薬事故については、職員の確認不足によるものであった。誤薬事故を受けて、職員会議にて配薬時の確認について周知を図った。無断外出については、自己の欲求が満たされない事によるものであるが、個々の欲求への対応が難しく、今後対応の仕方などが課題となる。今後も体操や散歩を継続し、レクリエーション活動にも積極的に参加するよう声掛けを行い、体力維持と転倒事故の予防を図っていく。

入所者の多様化に伴い、精神疾患を患い精神科や嘱託医に通院している方が10名いる。内服で落ち着いている方もあれば、精神科へ受診し相談しているが、落ち着きがなく多動多弁の症状がみられる方や被害妄想による不穏状態となり、周りの入所者に迷惑をかけている方もおり、職員も関係機関に相談しながら対応している。症状の悪化につながらないように、早めに受診を行い、場合によっては入院となる事もあった。

今年度も新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念されたため、検温、マスク、手洗い、手指消毒の励行や環境整備として居室の換気を行うと共に、ロビーや集会室では空気清浄機を設置し、適度な温度や湿度調整を図り、快適な居住環境に努めたが、令和5年1月15日から新型コロナウイルスの感染者が発生し、2月2日の収束までに合計7名が感染し、施設内で療養した。養護老人ホームの施設の特徴として、感染拡大が進みやすい環境であるため、感染者の隔離期間中には感染者以外の入所者も居室で過ごしてもらうよう行動制限をしたため、運動不足によるADL低下につながり、転倒事故増加の大きな要因となったと考えられる。コロナ感染者が発生した場合の機能訓練等、身体機能維持の為の方法を考えて行く必要がある。

○定期健診結果について

		異常なし	心配なし	経過観察	治療継続	要精査	要治療	合計
1回目	令和4年8月25日	3名	11名	28名	3名	0名	1名	46名
2回目	令和5年2月16日	3名	10名	26名	2名	0名	1名	42名

(注) 1回目の定期健診は、入所者47名中、1名が統合失調症で入院中の為46名が行った。健診結果は、要治療の方が1名あり、LDL コレステロールが高い為嘱託医指示にて経過観察となった。

2回目の健診は、入所者43名中、1名が大腿骨頸部骨折で入院中のため42名が行った。健診結果は、要治療の方が1名あり、8月の時とは違う方でLDL コレステロールが高い為、嘱託医指示にて経過観察となった。他は心配なしや経過観察者が大半を占めた。

(1) 入所者の主な健康管理について

①定期健診 第1回目 令和4年8月25日 胸部レントゲン、採血、検尿
入所者47名中46名実施(1名入院中)

第2回目 令和5年2月16日 採血、検尿
入所者43名中42名実施(1名入院中)

②歯科検診、受診 令和4年3月10日～令和5年3月9日の間に30名が受診した。

検診、受診は、第2・4木曜日に行った。

入所者43名中歯科治療者は23名であった。

問題なし5名、治療した方が良い方(急ぎでない方)3名

治療希望者：往診22名、牧野歯科通院1名

新規義歯・部分入れ歯作製5名

※今年度も義歯の不具合のある入所者が多数を占めた。歯科検診、治療を行うことにより、義歯が落ちることなく、しっかり装着できるようになり、「食事が食べやすくなり美味しくなった。」
「噛みしめられるようになった。」「話しやすくなった。」等の効果が得られた。今まで在宅だった方で、義歯が合わなく、義歯を作製した方があり、義歯を調整しながら使用しているが、長年義歯なしで作製した方は、使い慣れるまでに時間がかかった。歯の管理の習慣は一人ひとり違う為、歯科医が義歯の作製を勧めても、本人の意思で長年義歯なしでいる方もいる。一概に義歯を作製するのが良いわけではない為、本人の意向を踏まえ、今後も個々に合わせた対応の必要性を感じた。今年度も虫歯の治療者が多く、治療に3ヶ月～1年以上要している方もいる。
(虫歯の本数が多い為、部分義歯になる方もいる)

③インフルエンザ予防接種 令和4年11月17日実施

入所者45名中43名実施(1名拒否、1名入院中)

④高齢者肺炎球菌ワクチン接種 令和4年9月15日 13名実施

肺炎予防に努めている

⑤新型コロナウイルスワクチン接種 4回目 令和4年7月21日 41名(1名拒否、1名入院中、1名体調不良)

5回目 令和4年12月15日 42名(1名拒否、1名入院中)

上記で接種できなかった方：4回目 令和4年8月4日 1名

(2) 日常検診 血圧測定・体重測定は月1回、身長測定は年1回実施した。

(3) 嘱託医(菅沼医院 菅沼和人医師)による診察

①来診日 毎月第3木曜日 午後3時から診察(体調不良者診察、健康管理指導)

②通院日 毎月第2・4火曜日 午後1時30分から診察

8. 定例会議について

会議名	開催時期	会議名	開催時期
職員会議	月1回	わかば会役員会	月1回
ケア部会	月1回	感染対策委員会	年4回(5, 8, 11, 2月)
調理部会	月1回	組合連絡会	月1回
わかば会(入所者)	月1回	組合議会・監査	年各2回(7, 8, 3月)
事故防止委員会	月1回	身体拘束廃止委員会	年4回(4, 7, 10, 1月)

9. 主な職員研修について

(1) 施設(法人)外研修

月日	研修名	研修場所	主催者	参加者
5月23日	栄養士研修	書面による情報交換	中部地区公立養護老人ホーム施設職員連絡協議会	栄養士 松井
5月30日	「イマドキ世代の育て方研修」	Web研修	静岡県社会福祉人材センター	支援員 荒木
6月4日	「誰一人取り残されない災害時の食と栄養の支援を目指して」	Web研修	日本栄養士会	栄養士 松井

月 日	研 修 名	研修場所	主 催 者	参 加 者
6月10日	「コーチング研修」	Web研修	静岡県社会福祉人材センター	相談員 岡本
6月27日	「給食施設における食中毒防止と衛生管理」	Web研修	静岡県給食協会掛川支部	栄養士 松井
7月3日 4日	「研修活用入門講座—研修前後の動機付け—」	Web研修	静岡県社会福祉人材センター	相談員 柴田
7月22日	「動き出しは本人から」の介護実践（基礎編）	Web研修	静岡県社会福祉人材センター	支援員 熊切
7月23日	「栄養ディスカッション摂食嚥下」	Web研修	静岡県栄養士会	栄養士 松井
7月23日・ 30日	「食生活からの認知症予防～未来につながる持続可能な食事とは～ リハビリテーション栄養の実践例」	Web研修	日本栄養士会	栄養士 松井
8月4日	原子力災害避難計画 ガイドライン説明会」	Web研修	静岡県原子力安全対策課	施設長
8月5日	中東遠後方支援施設との連絡会議	Web研修	中東遠総合医療センター	看護師 杉山
9月9日	中東遠後方支援施設との連絡会議	Web研修	中東遠総合医療センター	看護師 杉山
9月10日	「対人スキルアップ研修」	Web研修	静岡県社会福祉人材センター	栄養士 松井
9月13日	「高齢者の転倒予防講座」	Web研修	静岡県社会福祉人材センター	支援員 石川
9月24日	歯科衛生士による「通いの場」へ支援	Web研修	静岡県栄養士会	栄養士 松井
10月27日	「健康づくり研修会」	静岡市「あざれあ」	静岡県栄養士会	栄養士 松井
10月26日 27日	「高齢者、障害者施設のための感染症講座（中級編）」	Web研修	静岡県社会福祉人材センター	看護師 杉山
11月4日	中東遠後方支援施設との連絡会議	Web研修	中東遠総合医療センター	看護師 杉山
11月9日	「静岡県感染症対策講座」	Web研修	静岡県感染症対策課	施設長
11月11日	「在宅介護の食生活支援」	Web研修	静岡県栄養士会	栄養士 松井
11月26日	「睡眠と食事について」	中東遠総合医療センター	静岡県栄養士会	栄養士 松井
11月28日	「感染防止の為にリーダー育成研修」	浜松市 西山ウエルケア	公益財団法人 静岡県病院協会	支援員 荒木
12月5日 6日	「知的障害者や発達障害がある方とのコミュニケーション講座」	Web研修	静岡県社会福祉人材センター	相談員 柴田
11月23日・ 25日	「社会福祉法人会計基準」	Web研修	全国老人施設協議会	相談員 岡本

月 日	研 修 名	研修場所	主 催 者	参 加 者
12月7日	「人が育つ魔法の仕組みづくり」	Web研修	静岡県社会福祉人材センター	相談員 岡本
12月10日	「栄養ケアの研修」	静岡市「あざれあ」	静岡県栄養士会	栄養士 松井
1月16日	「調理技術研修会」	生涯学習センター	静岡県給食協会掛川支部	栄養士 松井
1月6日・24日	「成年後見制度理解と活用」	Web研修	静岡県社会福祉人材センター	施設長
2月3日	「事例研修会」	グランシップ	静岡県給食協会	栄養士 松井
2月13日	「高齢者施設のリスクマネジメント講座」	Web研修	静岡県社会福祉人材センター	相談員 岡本
2月20日	「BCP研修」	静岡県総合福祉会館	静岡県老人福祉協会	相談員 岡本
3月6日	「急変を見逃さないための救急講座」	Web研修	静岡県社会福祉人材センター	支援員 瀧井

10. 給食業務について

(1) 行事食の実施状況

- ①令和5年度4月1日からの給食業務委託はプロポーサルにより、富士産業株式会社に決定した。
- ②毎月の誕生会は、誕生月の方から食事の希望を聞き、喜ばれる献立作りに努めた。また、行事食は季節に合った食材を活用した。
- ③コロナ禍の中、食材調達困難や流通不良などによる食材高騰に対応する為、代替品として品質の優れた冷凍野菜を取り入れるなどして、食べやすく美味しい食事を提供した。
- ④小笠老人ホーム敷地内の畑で採れた新鮮で安心安全な野菜を使用することが出来た。
- ⑤年3回入所者と一緒に行う手作りおやつ献立は、支援員と連携して考えた。

月	行 事	献 立 表
4月	誕生会	あられ寿司・天ぷら（きす、かぼちゃ、かきあげ）・さつま芋のミルク煮・澄まし汁（かまぼこ、玉葱、人参、三つ葉）・いちごのクレープ
5月	誕生会	山かけ丼・豆腐ステーキのこあんかけ・菜の花辛し和え・すまし汁（椎茸、卵、葱）・フルーツ牛乳羹
6月	誕生会	そばろ丼・海老と野菜の天ぷら（海老、なす、ピーマン、舞茸）・胡瓜とワカメの酢の物・すまし汁（椎茸、かいわれ大根、卵）・チョコレートのロールケーキ
7月	誕生会	ご飯・うなぎの蒲焼・青じその実漬け・冷製炊き合わせ（南瓜、なす、おくら）すまし汁（えのき茸、わかめ、ナルト）・ロールケーキとフルーツ
	納涼祭	ミニ赤飯にぎり・いなり寿司・焼きそば・チキン唐揚げ・フライドポテト・リンゴジュース・ホットコーヒー・緑茶・水まんじゅう・フルーツ（すいか、ぶどう）
8月	誕生会	レタスチャーハン・フライ盛り合わせ（海老、茄子、南瓜、ピーマン）・豆腐サラダ・すまし汁（そうめん、かまぼこ、葱）・クリームあんみつ
9月	敬老会	赤飯・赤魚の煮付け・冷やし茶碗蒸し・ほうれん草とワカメのポン酢和え・すまし汁（花麩、茶そば、葱）・茄子しば漬 おやつ：ケーキバイキング・巨峰・オレンジ
	誕生会	鮭の散らし寿司・豚肉大葉チーズロールフライ・梅肉和え・すまし汁（ワカメ、玉

		葱、えのき茸)・マンゴープリン
10月	誕生会	海鮮丼(鮭3枚、サーモン1枚、すしエビ1枚、ねぎとろ、厚焼玉子)・すまし汁(花麩、三つ葉、ゆず)・茶碗蒸し・さつま芋のスイートサラダ・ドームケーキトッピング
11月	誕生会	ご飯・お刺身(まぐろ3、サーモン2、寿司えび2、つま、青じそ、甘酢生姜)・野菜とポテサラ天・すまし汁(ほうれん草、人参、花麩)・即席漬け・クリームコンフェ
12月	誕生会	海老玉丼・かつおたたき・マカポテサラダ・清まし汁(玉葱、かまぼこ、人参、三つ葉)・栗ようかん
	忘年会	ご飯・すき焼き風一人鍋・温泉卵・さつま芋のスイートサラダ・べったら漬け・りんごのコンポートホイップクリーム おやつ:長栄堂のカップケーキ
1月	誕生会	コロナで居室対応・いなり寿司、太巻き寿司・茶碗蒸し・ブロッコリーとカリフラワーツナマヨ和え・豆大福
	お正月	三箇日おせち料理・七草粥・鏡開きお汁粉
2月	誕生会	親子丼・サーモンとエビのマリネ・豆腐ステーキきのこソース・豚汁・しっとり蒸しケーキ
3月	誕生会	散らし寿司・小田巻蒸し・りんごのシャキシャキサラダ・清まし汁(北海ふぶき、人参、三つ葉、玉葱)・シフォンケーキ

(2) 衛生管理

【保菌検査】保菌検査を栄養士は、毎月実施した。なお、6月から9月までの食中毒多発期間の4ヶ月間は、月2回実施した。

看護師、介護職員は、4月、7月、10月、1月の4回実施し、夜間支援員、宿直管理人は、5月、8月、11月、2月の4回実施した。

(3) 栄養ケア・マネジメント

- ① 日常の摂取状況、血液検査(年2回)、体重(毎月)・身長(2回/年)から割り出すBMI(体格指数)の状況から、支援員、看護師、相談員、栄養士の4者で、食事調整を行った。
- ② 適切な栄養ケア・マネジメントにより、入所者個々(療養食含む)の健康管理を行った。
- ③ 入所者に係わる必要な情報を給食委託業者に伝え、個々の状態を理解して頂き、安全で美味しい食事の提供に努めた。

(4) その他

- ① 感染症予防の対策として、職員に食中毒・感染症等発生時の対処の仕方を指導した。
また、給食業務委託業者調理員の保菌検査や衛生研修状況を確認した。
- ② 毎月1回調理部会を開催し、課題解消を目的とした情報交換等を行った。
- ③ 毎月の献立・食材料・栄養価の確認を行った。
- ④ 保存食の検品は、給食業者と漏れのないように、お互いにチェックを行い、記録に残した。
- ⑤ 行事食について、温かいものを温かいうちに摂取して頂く為に、卓上コンロの活用や温蔵保管を行った。なお、冷たい物は、配膳するまで冷蔵庫保管とした。
- ⑥ 乳和食の導入や入所者の要望に応えカウンターに一味唐辛子、胡椒、タバスコ等を置き、減塩に努めた。
- ⑦ 日曜日の朝食メニューの主食をパン食にしたところ、入所者に高評価で定着した。

1.1. 施設整備(修繕)について

組合予算も活用して、施設整備(修繕)や備品購入を実施した。

区分	No	主 要 な 項 目	目 的	法人・組合の別
施設整備 (修繕)	1	静養室内トイレ、洗面台設置工事	感染対策 衛生、 安全対策	組 合
	2	和室から洋室へ改修とナイスコー ル設置	環境改善	組 合
	3	屋根防水工事	老朽化	組 合
	4	空調機取替え	老朽化	組 合
	5	浄化槽、バルブ取替	老朽化	組 合
	6	2棟廊下暖房設置	環境改善	組 合
	7	網戸修繕	老朽化	法 人
	8	ポンプ室、水漏れ補修	老朽化	法 人
	9	作業室、床改修	環境改善	法 人

令和4年度 事業報告附属明細書 小笠老人ホーム拠点区分

該当事項なし。

